市民アンケート調査結果について

1 調査の目的

京都市における自転車の利用実態やルール・マナーの遵守等に関する意識を把握・分析することにより，今後進めていく自転車政策の参考とする。

2 調査の実施方針

（1）自転車のルール・マナーについて

ルール・マナーの遵守状況，自転車保険の認知度や加入の有無，自転車安全教育に対する意識や受講経験の有無等に関する実態，ルール・マナーに対する評価や満足度等を把握し，今後の安全教育及び啓発等の検討に活用する。

（2）自転車の走行環境について

利用者の走行実態や走行環境に対する評価や満足度を把握し，今後の矢羽根型路面標示等の走行環境整備や走行ルールの周知啓発等の検討に活用する。

（3）自転車の駐輪環境について

駐輪場の利用及び放置の実態や駐輪環境に対する評価や満足度を把握し，今後の駐輪場の整備や放置自転車対策，周知啓発等に活用する。

（4）本市の自転車政策について

本市の自転車政策全般に対する評価や満足度を把握し，計画の総合的な評価に活用する。

3 調査の概要

実施期間	平成 30 年 1 月 9 日（火）～12 日（金）
方　法	インターネットによるアンケート調査（1,000 サンプル抽出）
対　象	京都市内在住の 15 歳以上
結　果	詳細は５「調査結果の概要」参照

4 考察

考察

1 自転車のルール･マナーについて

自転車利用の基本となる「車道走行」，「左側通行」を守れていないと思う人が多く，過年度と比較しても割合が増えている。

また，自転車保険の認知度は約６割で，保険の加入率も過年度の約４割から６割に増加しているが，引き続き，保険の加入促進に取り組んでいく必要がある。

さらに，「自転車の安全利用に関する講習会や教室があれば受講したいか」という設問に対して，自転車利用者の７割が受講してもよいと回答しており，今後，大宮交通公園に整備予定の交通学習施設（サイクルセンター）に望む機能としても，「自転車のルール・マナーが学べる」との回答が最も多かったことから，いつでも誰でも自転車のルール・マナーが学べる常設施設の設置に取り組んでいく。

2 自転車の走行環境について

矢羽根型路面標示の認知度は自転車利用者で５割，行政区で分けると，整備が進んでいる重点地区の上京区，左京区，中京区では約６割が認知している。

車道走行率は約３割と，過年度からほとんど変化していないが，自転車利用者の約４割が車道左側を走行する自転車が増えたと感じており，また車道走行の理由として，「自転車は車の仲間であり，車道を走らないといけないから」との回答が過年度より増えていることから，矢羽根等の路面標示の整備や啓発により，自転車の走行ルールに対する認識は高まっていると考えられる。

引き続き，自転車が車道左側を安心して走行できるよう，走行環境整備に取り組むとともに，車道を走るのが怖いとの声もあることから，ドライバーに対する啓発も強化していく必要がある。

3 自転車の駐輪環境について

駐輪場を利用している自転車利用者の割合は，過年度の６割から７割に増加している。一方，駐輪場を利用しない理由として，「目的地又はその付近にないから」が最も多いことから，引き続き，適切な場所への駐輪場整備や駐輪場への案内誘導を進めていく必要がある。

4 総合満足度について

ルール・マナー，走行環境，駐輪環境及び本市自転車政策全般の満足度は，それぞれ３割から４割程度であった。今後，アンケート調査の分析等を進め，各種施策を推進していくことにより，満足度の向上を図っていくとともに，今後の自転車政策の評価にも活用していく。

5 調査結果の概要

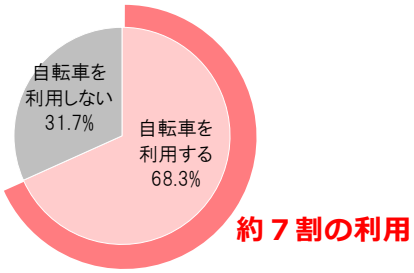
1 自転車の利用状況

○自転車の利用は約7割で，「日常生活での利用」が半数以上。
○年齢別でみると学生を含む 30 歳未満で「通勤」「通学」での利用が約半数となっている。
○年齢が高くなるにつれ，「通勤」，「通学」の割合が減り，「買い物・通院などの日常生活」の割合が高くなっている。

問１ 自転車を利用する目的（上位３つ）について

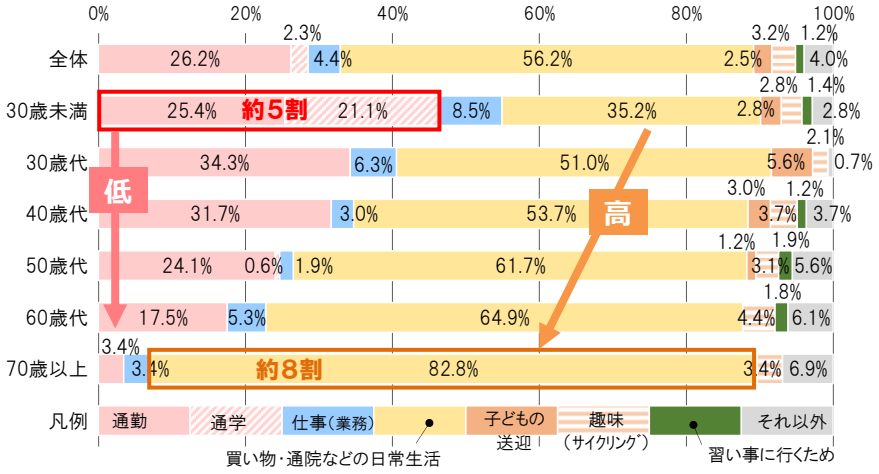
①自転車利用の有無

項目	回答数（人）	構成比（%）
自転車を利用する	683	68.3%
自転車を利用しない	317	31.7%
計	1,000	100%

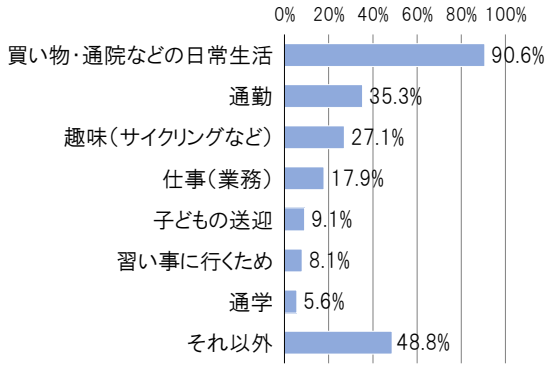


②利用目的

利用目的 1位 年齢別

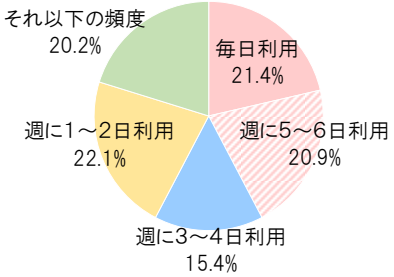


利用目的 1位～3位合計



問２ 自転車の利用頻度について

項目	回答数（人）	構成比（%）
毎日利用	146	21.4%
週に5～6日利用	143	20.9%
週に3～4日利用	105	15.4%
週に1～2日利用	151	22.1%
それ以下の頻度	138	20.2%
計	683	100%



2　自転車のルール・マナーについて

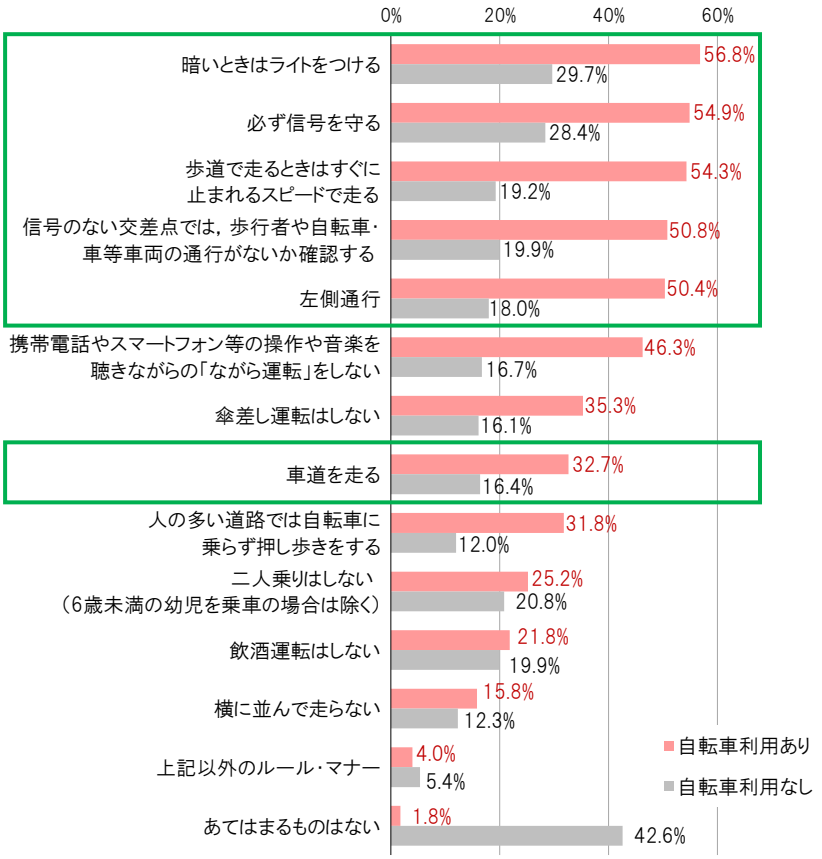
（1）ルール・マナーの遵守状況

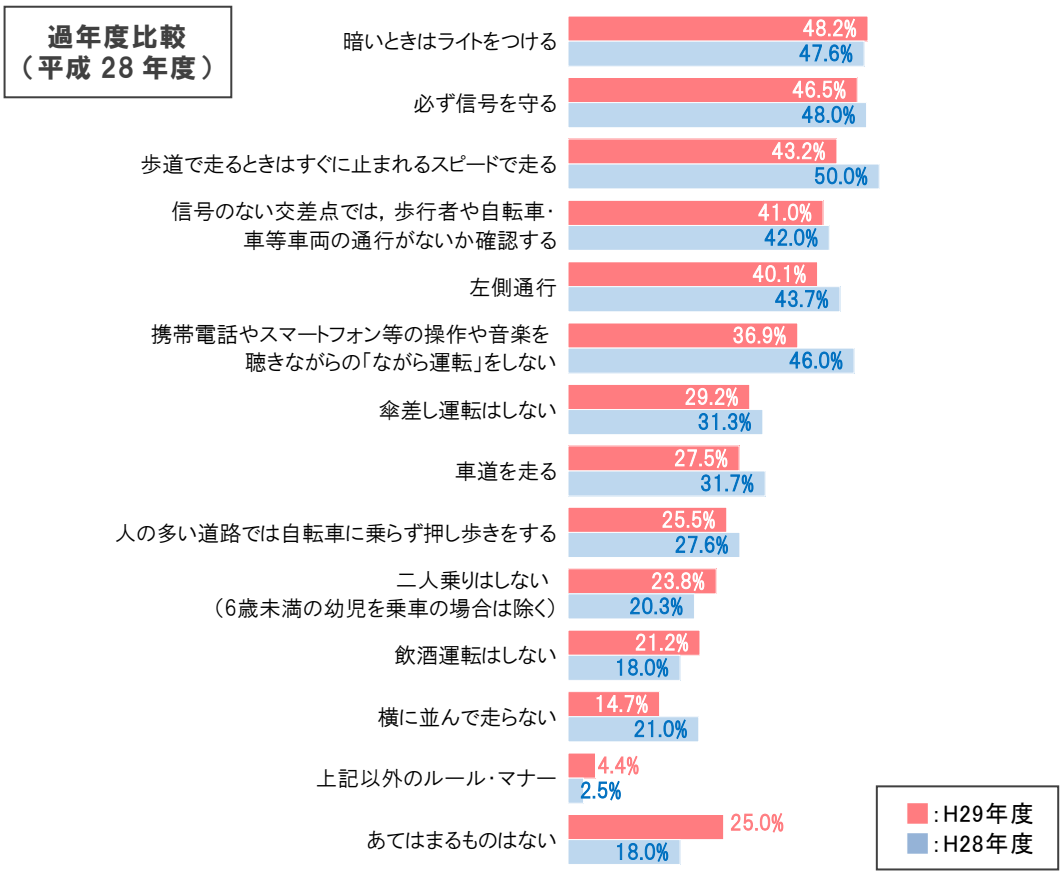
問3　自転車のルール・マナーで守っていることが多いと思う行為はどれですか。

（複数回答，上位５つ）

○自転車利用者は，「暗いときはライトをつける」，「必ず信号を守る」，「歩道で走るときはすぐに止まれるスピードで走る」，「左側通行」については5割以上が「守っている」と回答している。
○「車道を走る」を守っていると思う自転車利用者は約3割にとどまっている。
○自転車のルール・マナーが守られていると思う割合は，自転車利用者より，非利用者の方が全体的に低くなっている。（「暗い時はライトをつける」が最も高く3割程度）

項目	回答数（人）			構成比（%）		
	自転車利用あり	自転車利用なし	計	自転車利用あり	自転車利用なし	計
暗いときはライトをつける	388	94	482	56.8%	29.7%	48.2%
必ず信号を守る	375	90	465	54.9%	28.4%	46.5%
歩道で走るときはすぐに止まれるスピードで走る	371	61	432	54.3%	19.2%	43.2%
信号のない交差点では，歩行者や自転車・車等車両の通行がないか確認する	347	63	410	50.8%	19.9%	41.0%
左側通行	344	57	401	50.4%	18.0%	40.1%
携帯電話やスマートフォン等の操作や音楽を聴きながらの「ながら運転」をしない	316	53	369	46.3%	16.7%	36.9%
傘差し運転はしない	241	51	292	35.3%	16.1%	29.2%
車道を走る	223	52	275	32.7%	16.4%	27.5%
人の多い道路では自転車に乗らず押し歩きをする	217	38	255	31.8%	12.0%	25.5%
二人乗りはしない（6歳未満の幼児を乗車の場合は除く）	172	66	238	25.2%	20.8%	23.8%
飲酒運転はしない	149	63	212	21.8%	19.9%	21.2%
横に並んで走らない	108	39	147	15.8%	12.3%	14.7%
上記以外のルール・マナー	27	17	44	4.0%	5.4%	4.4%
あてはまるものはない	12	135	147	1.8%	42.6%	14.7%
回答 計	**3,290**	**879**	**4,169**	－	－	－
回答者数 計	**683**	**317**	**1,000**	－	－	－





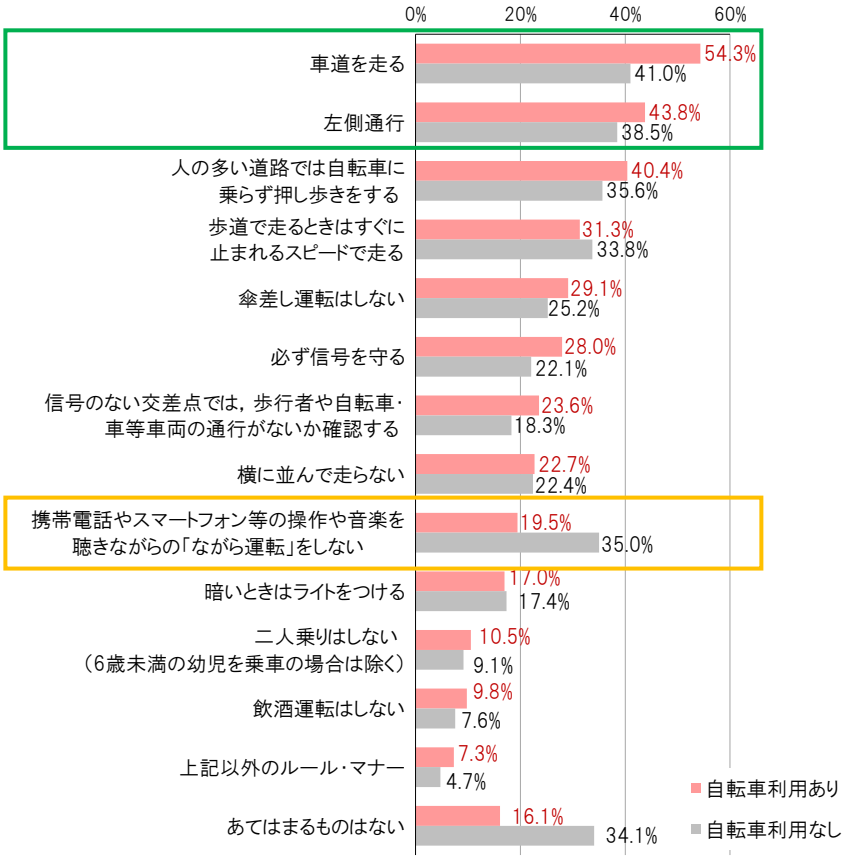
問４　自転車のルール・マナーをあまり守っていない（気をつけていない）と思う行為はどれですか。

（複数回答，上位５つ）

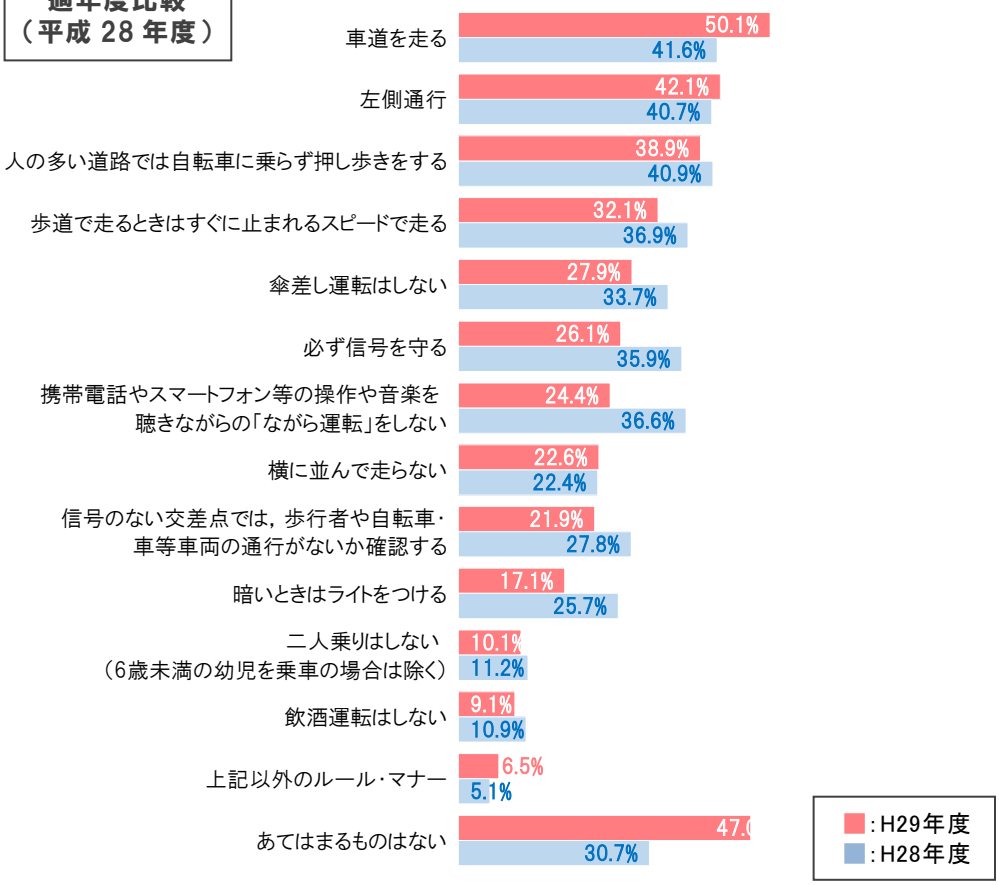
○自転車利用者・非利用者ともに，「車道を走る」や「左側通行」といった，自転車の基本となるルールの順守率が低くなっている。

○「携帯電話やスマートフォン等の操作や音楽を聴きながらの「ながら運転」をしない」については，自転車利用者よりも非利用者の方が，「守られていない」と考えている。

項目	回答数（人）			構成比（%）		
	自転車利用あり	自転車利用なし	計	自転車利用あり	自転車利用なし	計
車道を走る	371	130	501	54.3%	41.0%	50.1%
左側通行	299	122	421	43.8%	38.5%	42.1%
人の多い道路では自転車に乗らず押し歩きをする	276	113	389	40.4%	35.6%	38.9%
歩道で走るときはすぐに止まれるスピードで走る	214	107	321	31.3%	33.8%	32.1%
傘差し運転はしない	199	80	279	29.1%	25.2%	27.9%
必ず信号を守る	191	70	261	28.0%	22.1%	26.1%
信号のない交差点では，歩行者や自転車・車等車両の通行がないか確認する	161	58	219	23.6%	18.3%	21.9%
横に並んで走らない	155	71	226	22.7%	22.4%	22.6%
携帯電話やスマートフォン等の操作や音楽を聴きながらの「ながら運転」をしない	133	111	244	19.5%	35.0%	24.4%
暗いときはライトをつける	116	55	171	17.0%	17.4%	17.1%
二人乗りはしない（6歳未満の幼児を乗車の場合は除く）	72	29	101	10.5%	9.1%	10.1%
飲酒運転はしない	67	24	91	9.8%	7.6%	9.1%
上記以外のルール・マナー	50	15	65	7.3%	4.7%	6.5%
あてはまるものはない	110	108	218	16.1%	34.1%	21.8%
回答 計	**2,414**	**1,093**	**3,507**	**－**	**－**	**－**
回答者数 計	**683**	**317**	**1,000**	**－**	**－**	**－**



過年度比較（平成 28 年度）



（２） 自転車に対する危険意識や事故経験及びヒヤリハット経験の有無

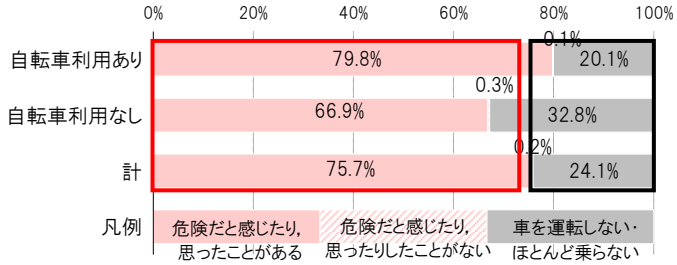
問５　車を運転（または乗車）していて，自転車利用者の走行で危険を感じたり危険に思ったりするのはどんな行為ですか。

○車を運転（乗車）するほぼ全員が，自転車利用者の走行で危険だと感じたり，思ったことがあると回答している。

○危険を感じたり，危険に思ったりした行為については，「車道を車と同じ向きで走る」が危険と感じる割合が他の項目と比べて低くなっている。

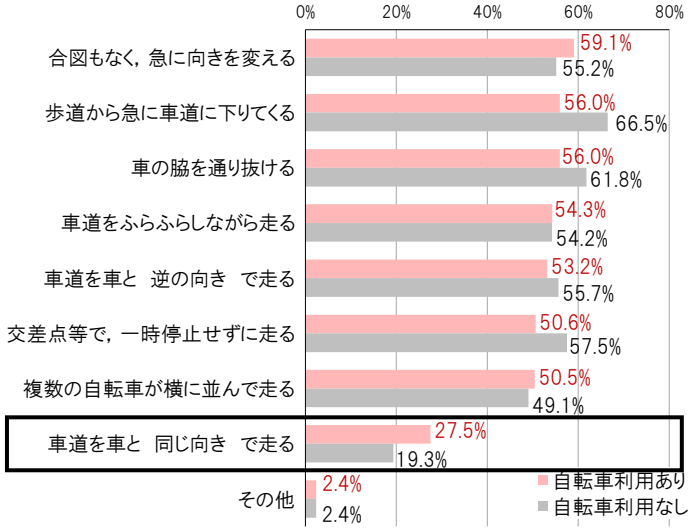
①自転車利用者の走行で危険だと感じたり，思ったことの有無

項目	回答数（人）			構成比（%）		
	自転車利用あり	自転車利用なし	計	自転車利用あり	自転車利用なし	計
危険だと感じたり，思ったことがある	545	212	757	79.8%	66.9%	75.7%
危険だと感じたり，思ったりしたことがない	1	1	2	0.1%	0.3%	0.2%
車を運転しない・ほとんど乗らない	137	104	241	20.1%	32.8%	24.1%
計	683	317	1,000	100%	100%	100%



②自転車利用者の走行で危険を感じたり，危険に思ったりした行為（複数回答）

項目	回答数（人）			構成比（%）		
	自転車利用あり	自転車利用なし	計	自転車利用あり	自転車利用なし	計
合図もなく，急に向きを変える	322	117	439	59.1%	55.2%	58.0%
歩道から急に車道に下りてくる	305	141	446	56.0%	66.5%	58.9%
車の脇を通り抜ける	305	131	436	56.0%	61.8%	57.6%
車道をふらふらしながら走る	296	115	411	54.3%	54.2%	54.3%
車道を車と　逆の向き　で走る	290	118	408	53.2%	55.7%	53.9%
交差点等で，一時停止せずに走る	276	122	398	50.6%	57.5%	52.6%
複数の自転車が横に並んで走る	275	104	379	50.5%	49.1%	50.1%
車道を車と　同じ向き　で走る	150	41	191	27.5%	19.3%	25.2%
その他	13	5	18	2.4%	2.4%	2.4%
回答 計	2,232	894	3,126	－	－	－
回答者 計	545	212	757	－	－	－



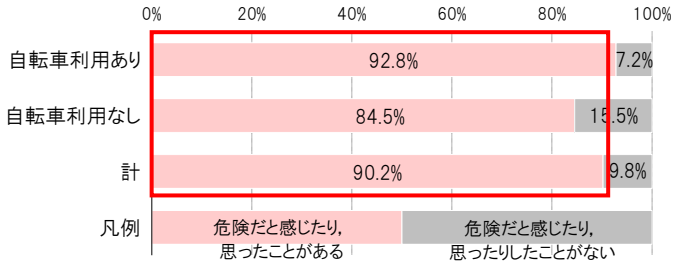
問６　市内を歩いていて，自転車利用者の走行で危険を感じたり，危険に思ったりするのはどんな行為ですか。

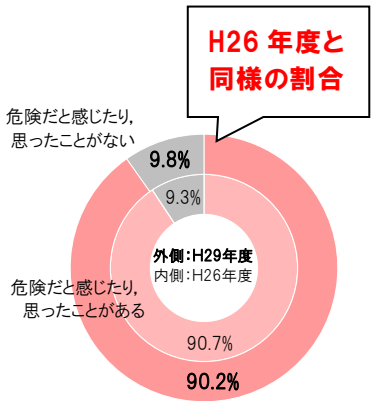
○市内を歩いていて，8割以上の人が自転車利用者の走行を危険と感じたり，思ったりした経験がある。

○危険を感じたり，思ったりした行為では，「携帯電話やスマートフォン等の操作や音楽を聴きながらの「ながら運転」をして走る」，「歩道でもスピードを緩めずに走る」と回答した人が約7割いた。

①自転車利用者の走行で危険を感じたり，危険に思ったことの有無

項目	回答数（人）			構成比（%）		
	自転車利用あり	自転車利用なし	計	自転車利用あり	自転車利用なし	計
危険だと感じたり，思ったことがある	634	268	902	92.8%	84.5%	90.2%
危険だと感じたり，思ったりしたことがない	49	49	98	7.2%	15.5%	9.8%
計	**683**	**317**	**1,000**	**100%**	**100%**	**100%**

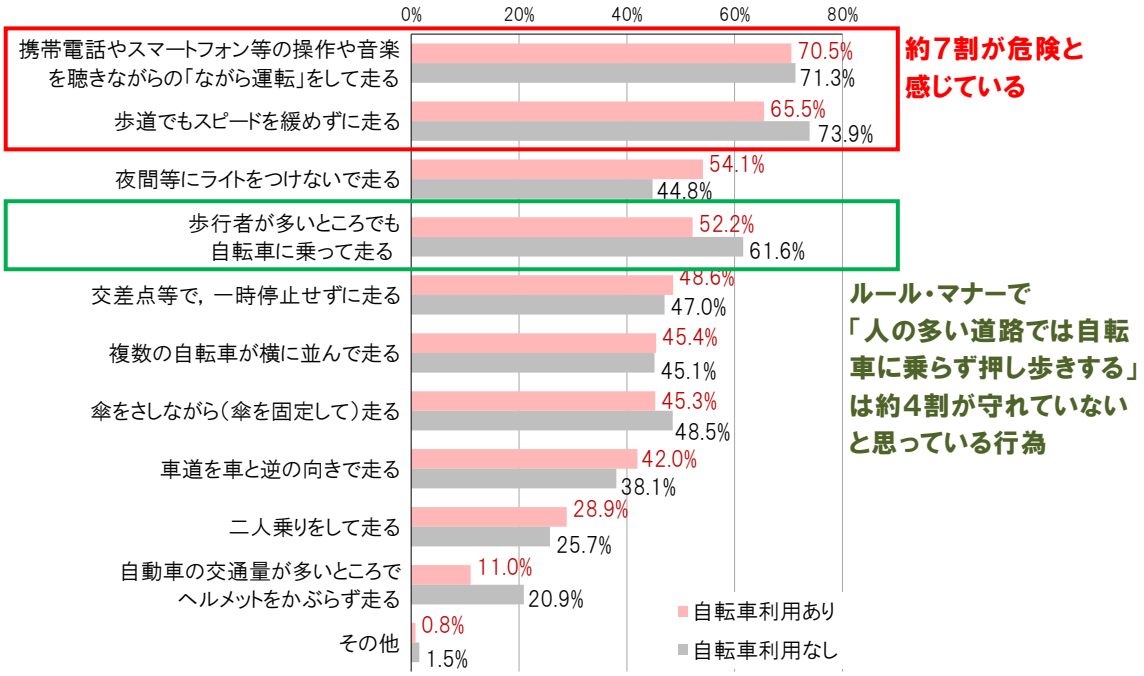




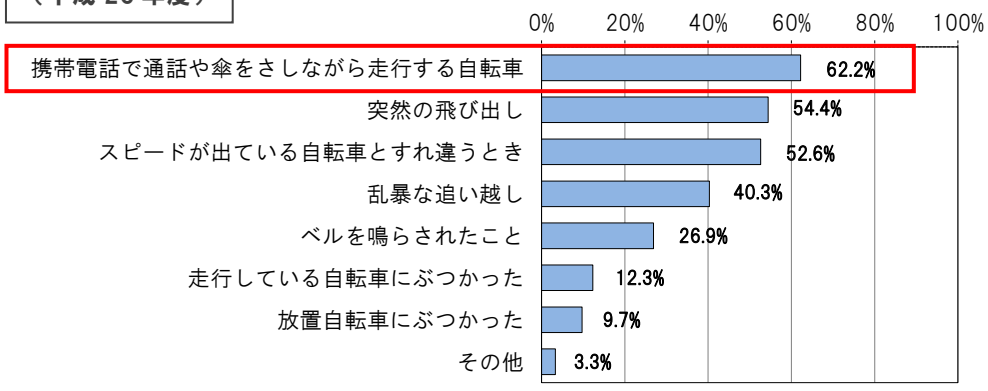
過年度比較（H26 と H29）

②自転車利用者の走行で危険を感じたり，思ったりした行為（複数回答）

項目	回答数（人）			構成比（%）		
	自転車利用あり	自転車利用なし	計	自転車利用あり	自転車利用なし	計
携帯電話やスマートフォン等の操作や音楽を聴きながらの「ながら運転」をして走る	447	191	638	70.5%	71.3%	70.7%
歩道でもスピードを緩めずに走る	415	198	613	65.5%	73.9%	68.0%
夜間等にライトをつけないで走る	343	120	463	54.1%	44.8%	51.3%
歩行者が多いところでも自転車に乗って走る	331	165	496	52.2%	61.6%	55.0%
交差点等で，一時停止せずに走る	308	126	434	48.6%	47.0%	48.1%
複数の自転車が横に並んで走る	288	121	409	45.4%	45.1%	45.3%
傘をさしながら（傘を固定して）走る	287	130	417	45.3%	48.5%	46.2%
車道を車と逆の向きで走る	266	102	368	42.0%	38.1%	40.8%
二人乗りをして走る	183	69	252	28.9%	25.7%	27.9%
自動車の交通量が多いところでヘルメットをかぶらず走る	70	56	126	11.0%	20.9%	14.0%
その他	5	4	9	0.8%	1.5%	1.0%
回答 計	**2,943**	**1,282**	**4,225**	**－**	**－**	**－**
回答者 計	**634**	**268**	**902**	**－**	**－**	**－**



参考
（平成 26 年度）



問７　この１年間に自転車運転中や歩行中，車に乗車中に，ヒヤリとしたことまたは事故にあったことはありますか。

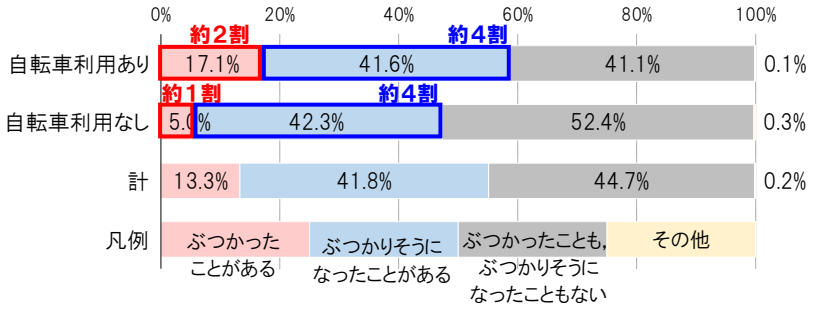
○自転車利用者の約2割，非利用者の約1割が「ぶつかったことがある」と回答しており，また，利用者・非利用者とも約4割が「ぶつかりそうになった」と回答している。

○事故経験のある自転車利用者の約5割が「自転車とぶつかった」と回答しており，ヒヤリハット経験のある自転車利用者の約6割が「自転車とぶつかりそうになった」と回答している。

○「ぶつかりそうになった」と回答している自転車利用者の6割・非利用者の9割が「歩行中に自転車と」ぶつかりそうになったと回答している。

①この１年間にヒヤリとしたこと，または事故にあったことの有無

項目	回答数（人）			構成比（%）		
	自転車利用あり	自転車利用なし	計	自転車利用あり	自転車利用なし	計
ぶつかったことがある	117	16	133	17.1%	5.0%	13.3%
ぶつかりそうになったことがある	284	134	418	41.6%	42.3%	41.8%
ぶつかったことも，ぶつかりそうになったこともない	281	166	447	41.1%	52.4%	44.7%
その他	1	1	2	0.1%	0.3%	0.2%
計	**683**	**317**	**1,000**	**100%**	**100%**	**100%**



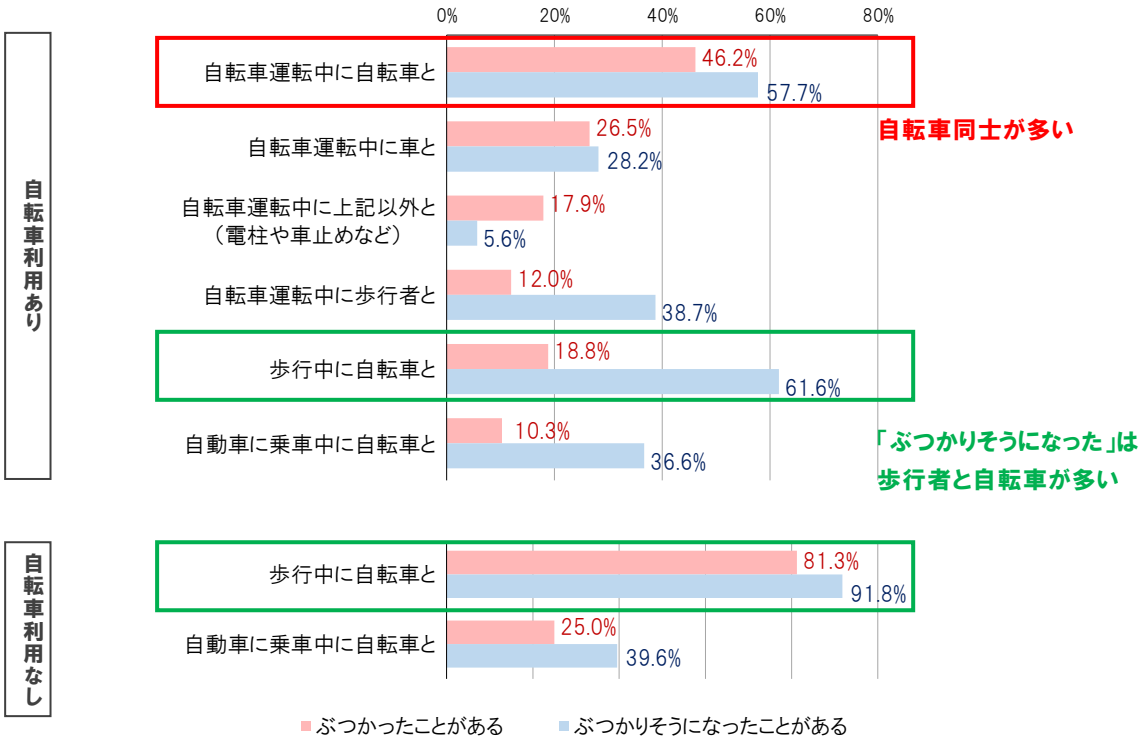
②この１年間にヒヤリとしたこと，または事故にあった状況（複数回答）

●自転車利用あり

項目	回答数（人）			構成比（%）		
	ぶつかったことがある	ぶつかりそうになったことがある	計	ぶつかったことがある	ぶつかりそうになったことがある	計
自転車運転中に自転車と	54	164	218	46.2%	57.7%	54.4%
自転車運転中に車と	31	80	111	26.5%	28.2%	27.7%
自転車運転中に上記以外と（電柱や車止めなど）	21	16	37	17.9%	5.6%	9.2%
自転車運転中に歩行者と	14	110	124	12.0%	38.7%	30.9%
歩行中に自転車と	22	175	197	18.8%	61.6%	49.1%
自動車に乗車中に自転車と	12	104	116	10.3%	36.6%	28.9%
回答 計	**154**	**649**	**803**	－	－	－
回答者 計	**117**	**284**	**401**	－	－	－

●自転車利用なし

項目	回答数（人）			構成比（%）		
	ぶつかったことがある	ぶつかりそうになったことがある	計	ぶつかったことがある	ぶつかりそうになったことがある	計
歩行中に自転車と	13	123	136	81.3%	91.8%	90.7%
自動車に乗車中に自転車と	4	53	57	25.0%	39.6%	38.0%
回答 計	**17**	**176**	**193**	－	－	－
回答者 計	**16**	**134**	**150**	－	－	－

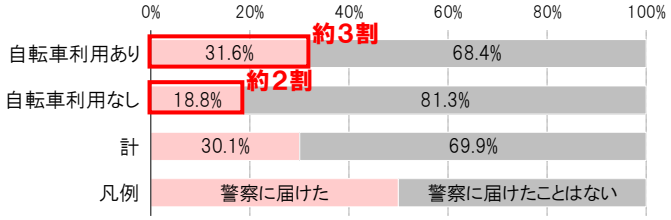


問８　この１年間に自転車運転中や歩行中，車に乗車中にぶつかったとき，警察へ届けましたか。

○「ぶつかったことがある」と回答した人のうち，警察に届け出た人は約3割。
○自動車とぶつかった場合での届け出が，自転車利用時で約6割，自動車に乗車時で約5割となっており，より多く発生している自転車同士の事故の届け出は2割弱にとどまっていた。

①警察への届け出の有無

項目	回答数（人）			構成比（%）		
	自転車利用あり	自転車利用なし	計	自転車利用あり	自転車利用なし	計
警察に届けた	37	3	40	31.6%	18.8%	30.1%
警察に届けたことはない	80	13	93	68.4%	81.3%	69.9%
計	**117**	**16**	**133**	**100%**	**100%**	**100%**



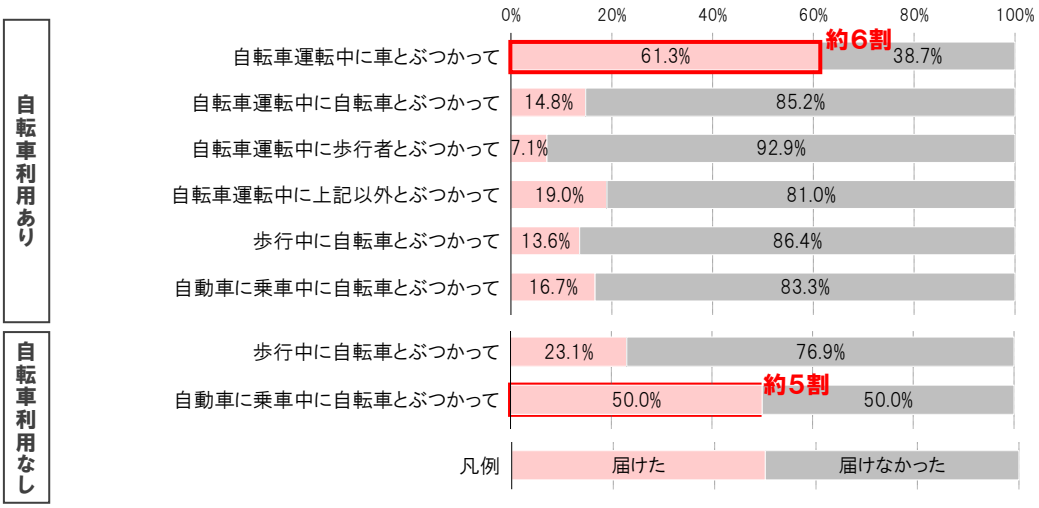
②警察に届けた事故の状況（複数回答）

●自転車利用あり

項目	回答数（人）			構成比（%）		
	届けた	届けなかった	計	届けた	届けなかった	計
自転車運転中に車とぶつかって	19	12	31	61.3%	38.7%	**100%**
自転車運転中に自転車とぶつかって	8	46	54	14.8%	85.2%	**100%**
自転車運転中に歩行者とぶつかって	1	13	14	7.1%	92.9%	**100%**
自転車運転中に上記以外とぶつかって	4	17	21	19.0%	81.0%	**100%**
歩行中に自転車とぶつかって	3	19	22	13.6%	86.4%	**100%**
自動車に乗車中に自転車とぶつかって	2	10	12	16.7%	83.3%	**100%**
回答 計	**37**	**117**	**154**	**24.0%**	**76.0%**	**100%**

●自転車利用なし

項目	回答数（人）			構成比（%）		
	届けた	届けなかった	計	届けた	届けなかった	計
歩行中に自転車とぶつかって	3	10	13	23.1%	76.9%	**100%**
自動車に乗車中に自転車とぶつかって	2	2	4	50.0%	50.0%	**100%**
回答 計	**5**	**12**	**17**	**29.4%**	**70.6%**	**100%**

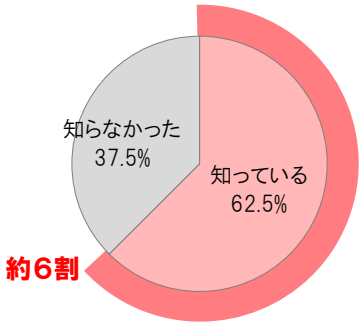


（3）自転車保険の認知度や加入の有無

問９　京都市では，自転車利用者の自転車保険の加入が平成30年4月から義務化されることを知っていますか。　（自転車利用者のみ：N=683）

○自転車保険が義務化されることを「知っている」との回答は，約6割であった。

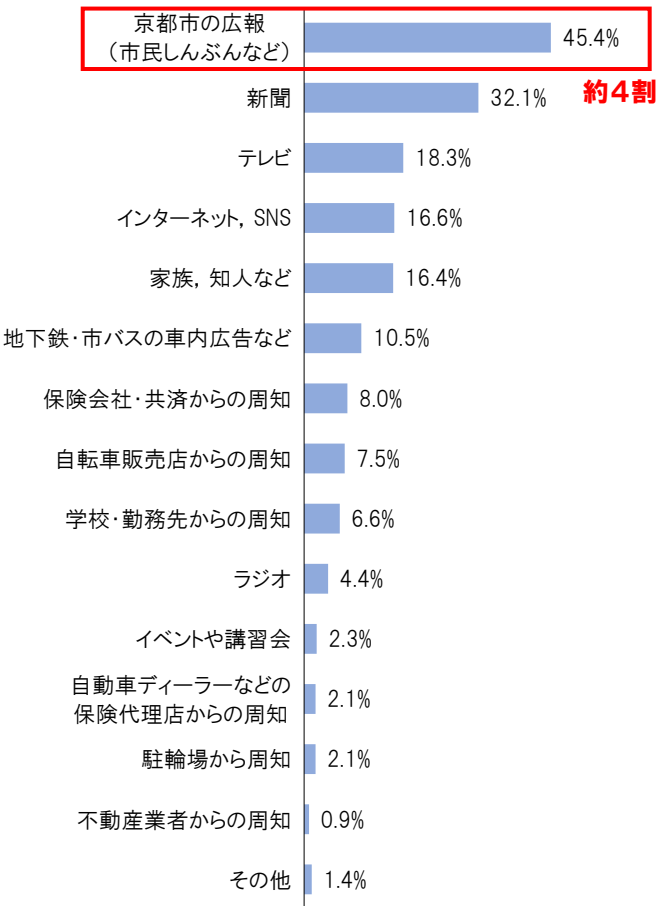
項目	回答数（人）	構成比（%）
知っている	427	62.5
知らなかった	256	37.5
計	683	100



問10　自転車保険の加入が義務化されることを何で知りましたか。（複数回答）

○「京都市の広報（市民しんぶん）」が約5割と最も多かった。

項目	回答数（人）	構成比（%）
京都市の広報（市民しんぶんなど）	194	45.4%
新聞	137	32.1%
テレビ	78	18.3%
インターネット，SNS	71	16.6%
家族，知人など	70	16.4%
地下鉄・市バスの車内広告など	45	10.5%
保険会社・共済からの周知	34	8.0%
自転車販売店からの周知	32	7.5%
学校・勤務先からの周知	28	6.6%
ラジオ	19	4.4%
イベントや講習会	10	2.3%
自動車ディーラーなどの保険代理店からの周知	9	2.1%
駐輪場から周知	9	2.1%
不動産業者からの周知	4	0.9%
その他	6	1.4%
回答　計	746	－
回答者数　計	427	－



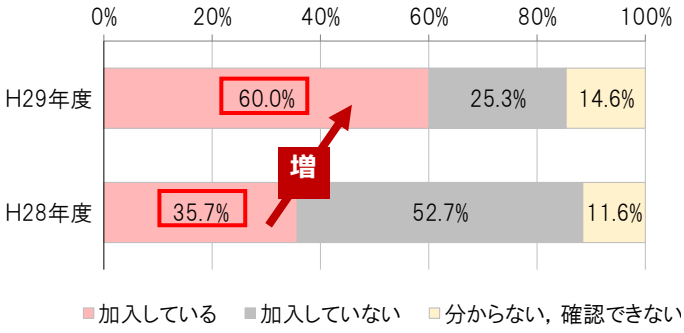
問11　あなた又はあなたの同居の御親族が加入している保険は次のどれですか。

○自転車利用者の約6割が，「保険に加入している」と回答しており，過年度（約4割）と比べて，加入率が増加している。
○保険の種類は，「自動車保険の特約として加入」と「「自転車保険」と明記している保険に加入」が約3割となっている。
○保険に加入していない理由は，「自転車保険について良く知らないから」が約3割で，「加入手続きなどの相談先がわからない」や「加入について考えたことがない」，「加入が義務化されることを知らなかった」が約2割となっている。

①自転車保険の加入の有無

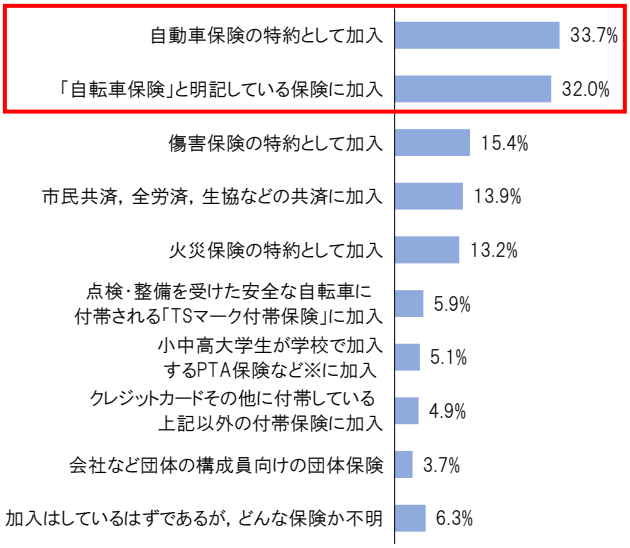
項目	回答数（人）	構成比（%）
加入している	410	60.0%
加入していない	173	25.3%
分からない，確認できない	100	14.6%
計	683	100%

過年度比較



②加入している保険の種類（複数回答）

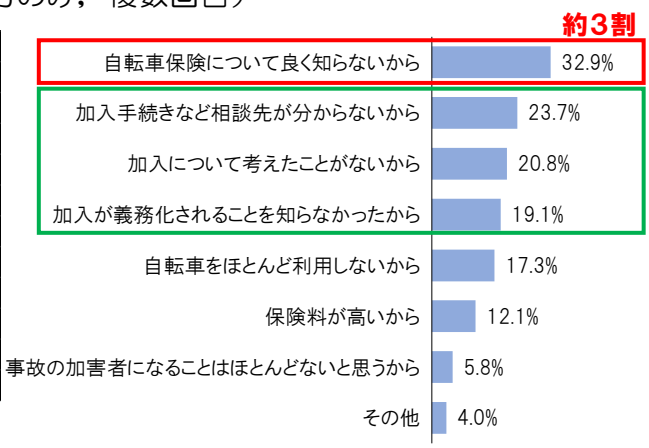
項目	回答数（人）	構成比（%）
自動車保険の特約として加入	138	33.7%
「自転車保険」と明記している保険に加入	131	32.0%
傷害保険の特約として加入	63	15.4%
市民共済，全労済，生協などの共済に加入	57	13.9%
火災保険の特約として加入	54	13.2%
点検・整備を受けた安全な自転車に付帯される「TSマーク付帯保険」に加入	24	5.9%
小中高大学生が学校で加入するPTA保険など※に加入	21	5.1%
クレジットカードその他に付帯している上記以外の付帯保険に加入	20	4.9%
会社など団体の構成員向けの団体保険	15	3.7%
加入はしているはずであるが，どんな保険か不明	26	6.3%
回答　計	549	－
回答者数　計	410	－



③保険に加入していない理由

（前問で「加入していない」と回答した方のみ，複数回答）

項目	回答数（人）	構成比（%）
自転車保険について良く知らないから	57	32.9%
加入手続きなど相談先が分からないから	41	23.7%
加入について考えたことがないから	36	20.8%
加入が義務化されることを知らなかったから	33	19.1%
自転車をほとんど利用しないから	30	17.3%
保険料が高いから	21	12.1%
事故の加害者になることはほとんどないと思うから	10	5.8%
その他	7	4.0%
回答　計	235	－
回答者数　計	173	－



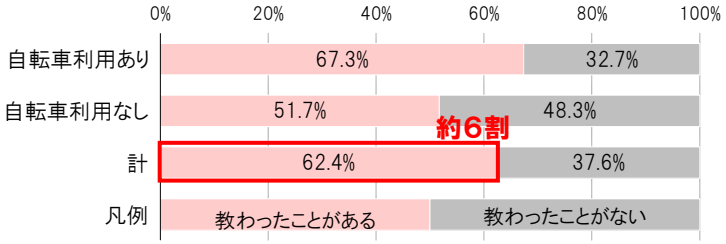
（4） 自転車安全教育に対する意識や受講経験の有無

問12　これまでに自転車のルール・マナーについて，教わったことがありますか。それは何処で教わりましたか。

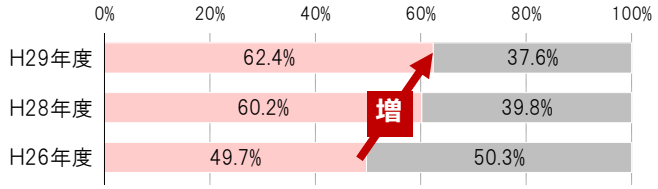
○自転車のルール･マナーについての受講状況について，全体の約6割が受講を経験している。
○過年度を比較して，受講経験は年々増加している。
○年齢別では，年齢が高くなるほど受講経験が低い。
○受講場所では，約9割が「小学校で教わった」との回答であった。

①これまでに自転車のルール・マナーについて教わったことの有無

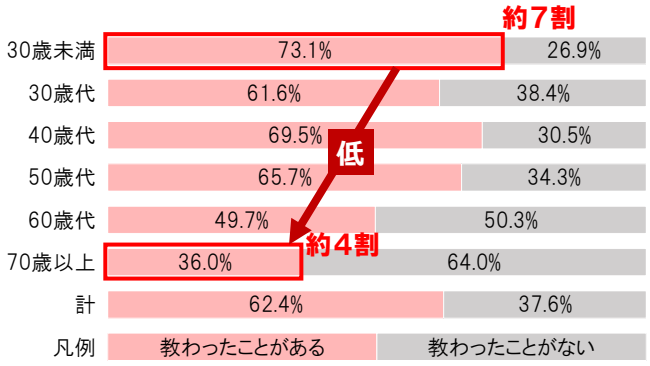
項目	回答数（人）			構成比（%）		
	自転車利用あり	自転車利用なし	計	自転車利用あり	自転車利用なし	計
これまでに教わったことがある	460	164	624	67.3%	51.7%	62.4%
これまでに教わったことがない	223	153	376	32.7%	48.3%	37.6%
計	683	317	1,000	100%	100%	100%



過年度比較（3ヶ年）



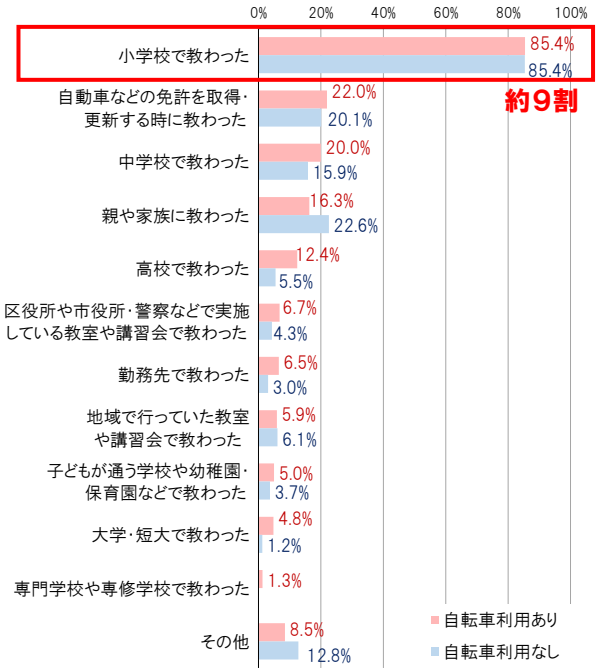
年齢別



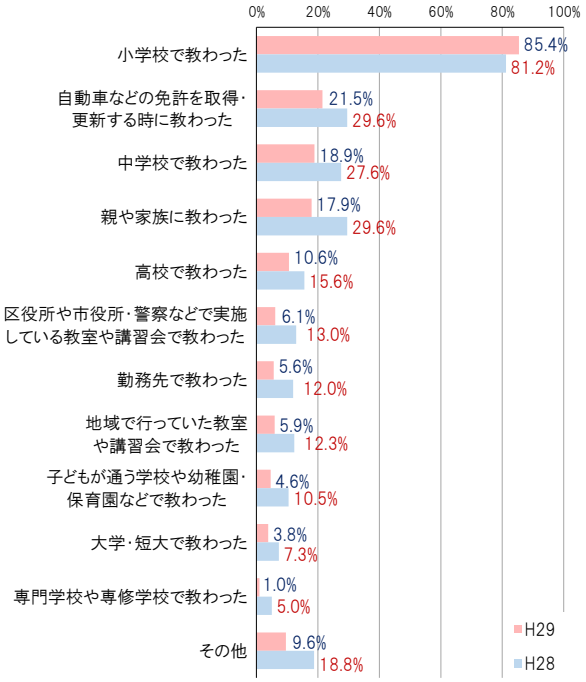
②これまでに自転車のルール・マナーについて，どこで教わりましたか。（複数回答）

項目	回答数（人）			構成比（%）		
	自転車利用あり	自転車利用なし	計	自転車利用あり	自転車利用なし	計
小学校で教わった	393	140	533	85.4%	85.4%	85.4%
自動車などの免許を取得・更新する時に教わった	101	33	134	22.0%	20.1%	21.5%
中学校で教わった	92	26	118	20.0%	15.9%	18.9%
親や家族に教わった	75	37	112	16.3%	22.6%	17.9%
高校で教わった	57	9	66	12.4%	5.5%	10.6%
区役所や市役所・警察などで実施している教室や講習会で教わった	31	7	38	6.7%	4.3%	6.1%
勤務先で教わった	30	5	35	6.5%	3.0%	5.6%
地域で行っていた教室や講習会で教わった	27	10	37	5.9%	6.1%	5.9%
子どもが通う学校や幼稚園・保育園などで教わった	23	6	29	5.0%	3.7%	4.6%
大学・短大で教わった	22	2	24	4.8%	1.2%	3.8%
専門学校や専修学校で教わった	6	0	6	1.3%	0.0%	1.0%
その他	39	21	60	8.5%	12.8%	9.6%
回答 計	**896**	**296**	**1,192**	**－**	**－**	**－**
回答者 計	**460**	**164**	**624**	**－**	**－**	**－**

自転車の利用別比較



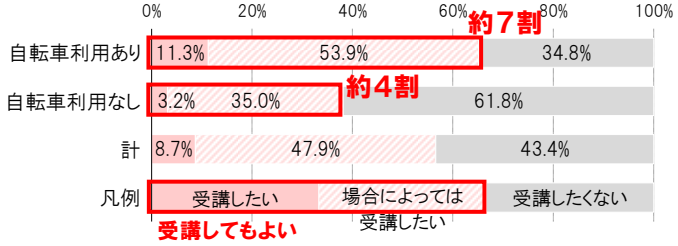
過年度比較（平成 28 年度）



問13　自転車の安全利用に関する講習会や教室があれば受けてみたいと思いますか。

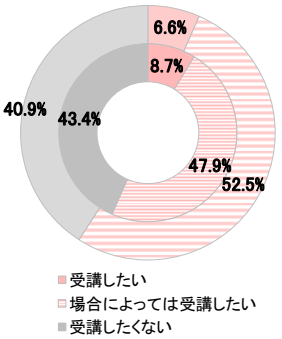
○自転車を利用する人は，約7割が「受講してもよい」との回答であった。

項目	回答数（人）			構成比（%）		
	自転車利用あり	自転車利用なし	計	自転車利用あり	自転車利用なし	計
受講したい	77	10	87	11.3%	3.2%	8.7%
場合によっては受講したい	368	111	479	53.9%	35.0%	47.9%
受講したくない	238	196	434	34.8%	61.8%	43.4%
計	**683**	**317**	**1,000**	**100%**	**100%**	**100%**



過年度比較（平成 28 年度）

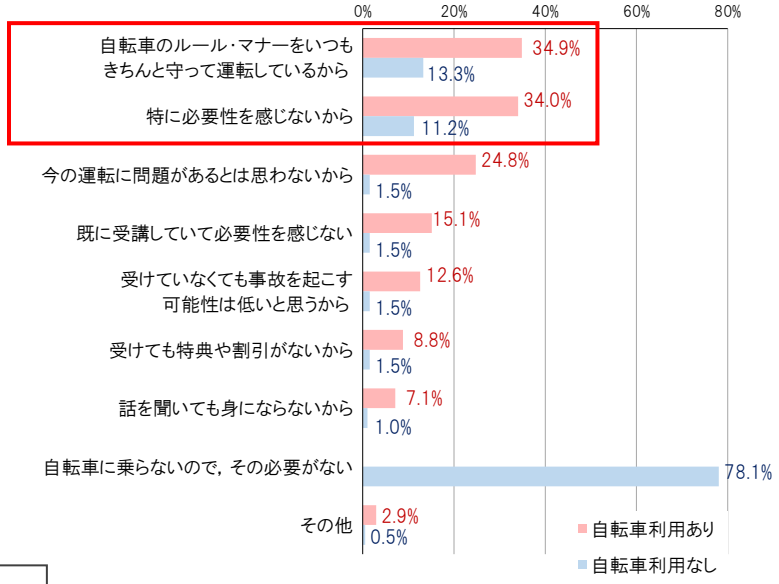
内側：H29 年度，外側：H28 年度



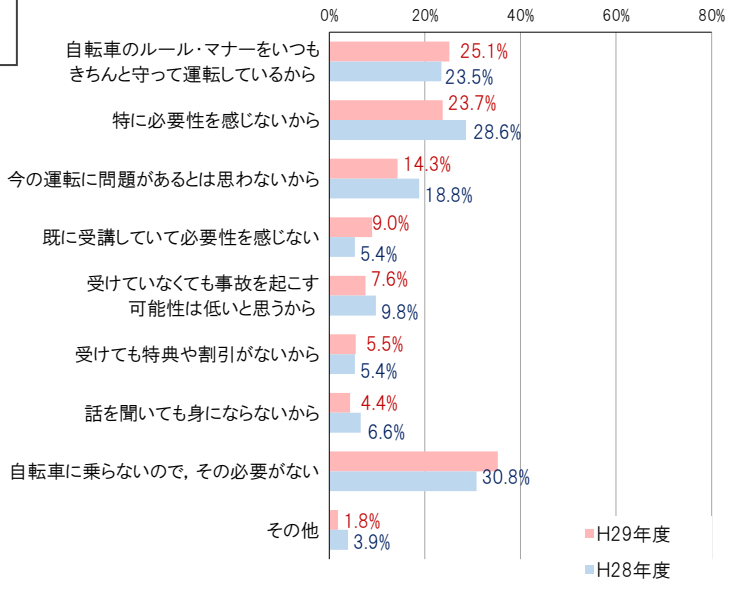
問14　なぜ，受講したくないと思うのですか。
（前問で「受講したくない」と回答した方のみ，複数回答）

○受講しない理由は，「自転車のルール･マナーをいつもきちんと守って運転しているから」や「特に必要性を感じないから」が約3割であった。

項目	回答数（人）			構成比（%）		
	自転車利用あり	自転車利用なし	計	自転車利用あり	自転車利用なし	計
自転車のルール･マナーをいつもきちんと守って運転しているから	83	26	109	34.9%	13.3%	25.1%
特に必要性を感じないから	81	22	103	34.0%	11.2%	23.7%
今の運転に問題があるとは思わないから	59	3	62	24.8%	1.5%	14.3%
既に受講していて必要性を感じない	36	3	39	15.1%	1.5%	9.0%
受けていなくても事故を起こす可能性は低いと思うから	30	3	33	12.6%	1.5%	7.6%
受けても特典や割引がないから	21	3	24	8.8%	1.5%	5.5%
話を聞いても身にならないから	17	2	19	7.1%	1.0%	4.4%
自転車に乗らないので，その必要がない	0	153	153	0.0%	78.1%	35.3%
その他	7	1	8	2.9%	0.5%	1.8%
回答 計	**334**	**216**	**550**	－	－	－
回答者 計	**238**	**196**	**434**	－	－	－



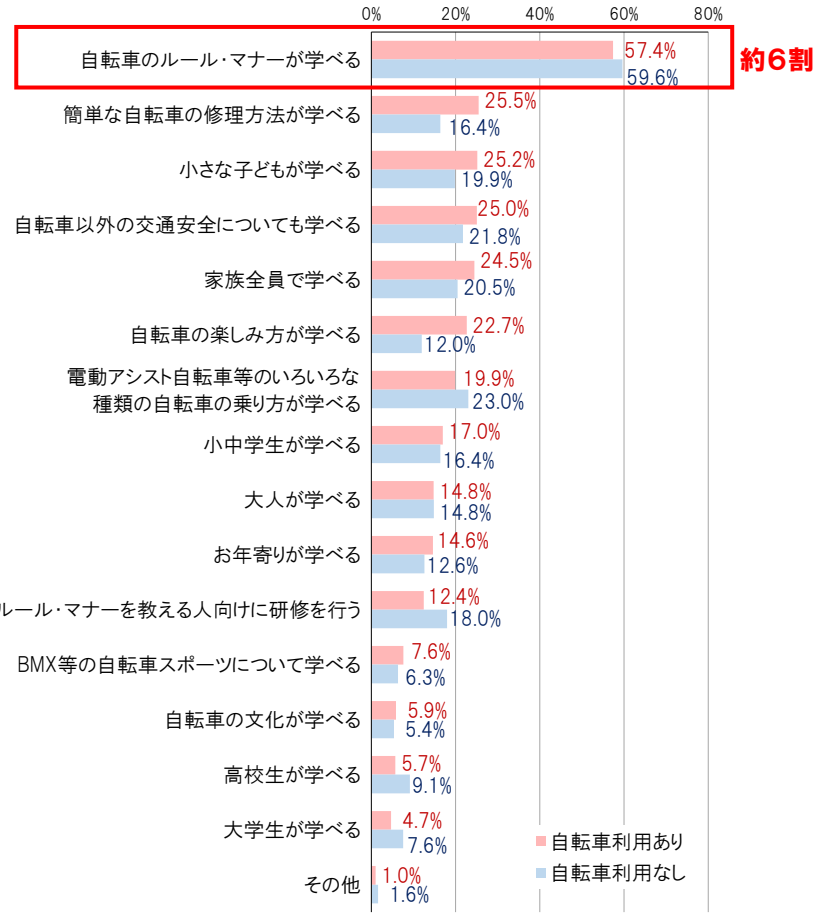
過年度比較（平成 28 年度）



問15　あなたが大宮交通公園の交通学習ゾーンに望む機能について（複数回答）

○「自転車のルール･マナーが学べる」が約6割と最も多く，それ以外は3割以下となっており、意見が分かれた。

項目	回答数（人）			構成比（%）		
	自転車利用あり	自転車利用なし	計	自転車利用あり	自転車利用なし	計
自転車のルール･マナーが学べる	392	189	581	57.4%	59.6%	58.1%
簡単な自転車の修理方法が学べる	174	52	226	25.5%	16.4%	22.6%
小さな子どもが学べる	172	63	235	25.2%	19.9%	23.5%
自転車以外の交通安全についても学べる	171	69	240	25.0%	21.8%	24.0%
家族全員で学べる	167	65	232	24.5%	20.5%	23.2%
自転車の楽しみ方が学べる	155	38	193	22.7%	12.0%	19.3%
電動アシスト自転車等のいろいろな種類の自転車の乗り方が学べる	136	73	209	19.9%	23.0%	20.9%
小中学生が学べる	116	52	168	17.0%	16.4%	16.8%
大人が学べる	101	47	148	14.8%	14.8%	14.8%
お年寄りが学べる	100	40	140	14.6%	12.6%	14.0%
ルール･マナーを教える人向けに研修を行う	85	57	142	12.4%	18.0%	14.2%
BMX等の自転車スポーツについて学べる	52	20	72	7.6%	6.3%	7.2%
自転車の文化が学べる	40	17	57	5.9%	5.4%	5.7%
高校生が学べる	39	29	68	5.7%	9.1%	6.8%
大学生が学べる	32	24	56	4.7%	7.6%	5.6%
その他	7	5	12	1.0%	1.6%	1.2%
回答 計	**1,939**	**840**	**2,779**	－	－	－
回答者 計	**683**	**317**	**1,000**	－	－	－



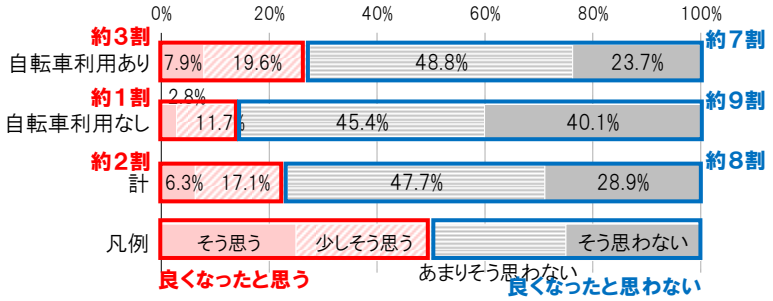
（５） 京都市内のルール･マナーに対する評価や満足度

問16　京都市の自転車のルール・マナーについてどのように感じていますか。

①利用者のルール・マナーが良くなった

○「良くなった」と思っている人は全体で約2割であった。
○自転車利用者の方が，「良くなった」と感じている人が多かった。

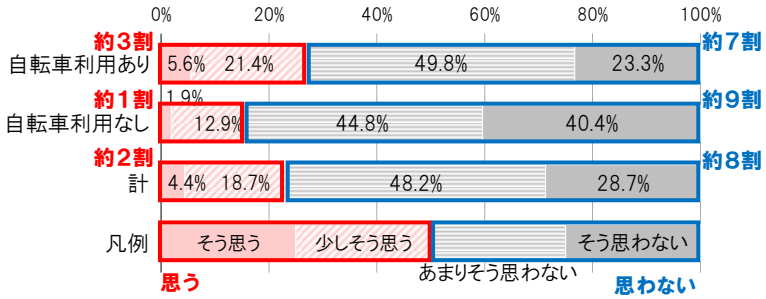
項目	回答数（人）			構成比（%）		
	自転車利用あり	自転車利用なし	計	自転車利用あり	自転車利用なし	計
そう思う	54	9	63	7.9%	2.8%	6.3%
少しそう思う	134	37	171	19.6%	11.7%	17.1%
あまりそう思わない	333	144	477	48.8%	45.4%	47.7%
そう思わない	162	127	289	23.7%	40.1%	28.9%
計	683	317	1,000	100%	100%	100%



②歩道で危険な走行をしている自転車が減った

○「減った」と思っている人は全体の2割で，上記の項目同様，自転車利用者の方が「減った」と感じている人が多かった。

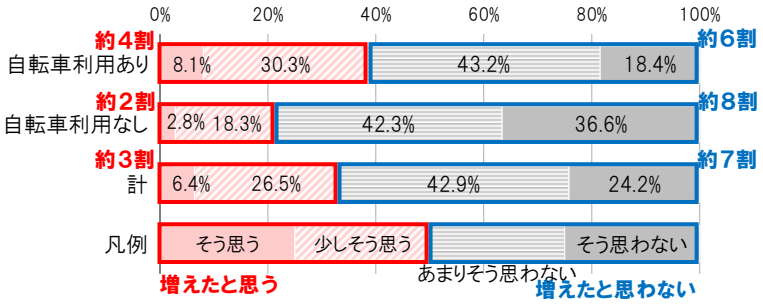
項目	回答数（人）			構成比（%）		
	自転車利用あり	自転車利用なし	計	自転車利用あり	自転車利用なし	計
そう思う	38	6	44	5.6%	1.9%	4.4%
少しそう思う	146	41	187	21.4%	12.9%	18.7%
あまりそう思わない	340	142	482	49.8%	44.8%	48.2%
そう思わない	159	128	287	23.3%	40.4%	28.7%
計	683	317	1,000	100%	100%	100%



③車道左側を走行する自転車が増えた

○全体で約3割の人が「増えたと思う」と回答しており，特に自転利用者は約4割が「増えた」と感じている。

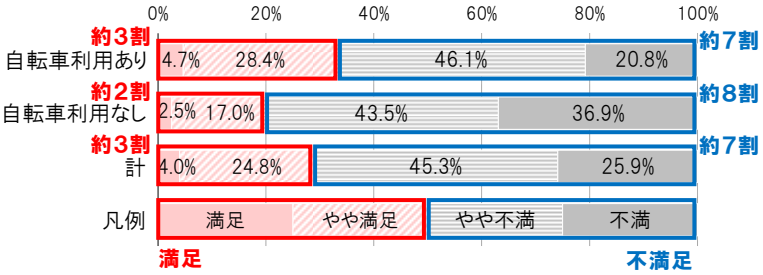
項目	回答数（人）			構成比（%）		
	自転車利用あり	自転車利用なし	計	自転車利用あり	自転車利用なし	計
そう思う	55	9	64	8.1%	2.8%	6.4%
少しそう思う	207	58	265	30.3%	18.3%	26.5%
あまりそう思わない	295	134	429	43.2%	42.3%	42.9%
そう思わない	126	116	242	18.4%	36.6%	24.2%
計	683	317	1,000	100%	100%	100%



問17　京都市の自転車のルール・マナーについて総合的な満足度

○京都市内のルール･マナーに対して総合的に満足しているとの回答は，全体の3割だった。

項目	回答数（人）			構成比（%）		
	自転車利用あり	自転車利用なし	計	自転車利用あり	自転車利用なし	計
満足	32	8	40	4.7%	2.5%	4.0%
やや満足	194	54	248	28.4%	17.0%	24.8%
やや不満	315	138	453	46.1%	43.5%	45.3%
不満	142	117	259	20.8%	36.9%	25.9%
計	683	317	1,000	100%	100%	100%



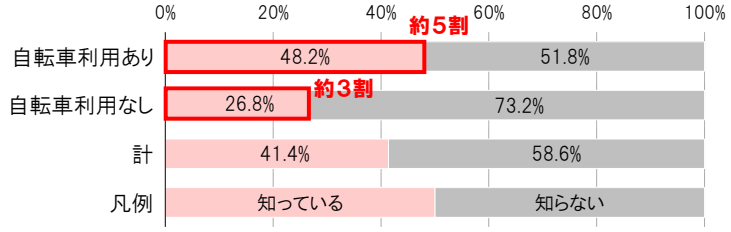
2　自転車の走行環境について

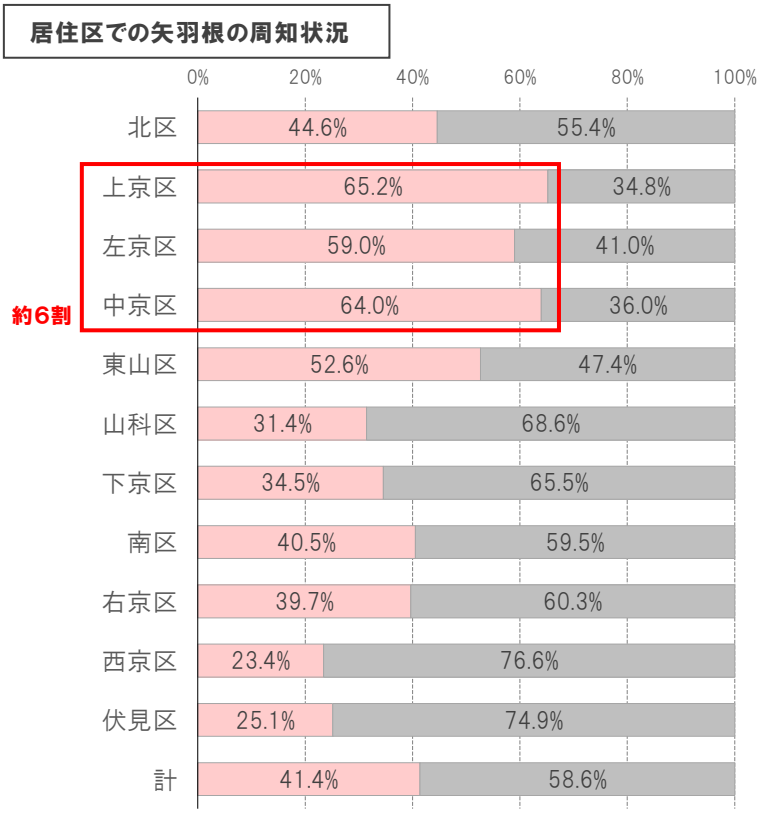
（1）矢羽根型路面標示の認知度や走行の実態

問18　写真のような矢羽根型の路面表示を知っていますか。

○矢羽根の路面表示は，自転車を利用する人の半数が「知っている」と回答
○居住区別でみると，「知っている」との回答は，矢羽根の整備が進む上京区や左京区，中京区で約6割と他区に比べ高く，西京区や伏見区で約2割と低い。

項目	回答数（人）			構成比（%）		
	自転車利用あり	自転車利用なし	計	自転車利用あり	自転車利用なし	計
知っている	329	85	414	48.2%	26.8%	41.4%
知らない	354	232	586	51.8%	73.2%	58.6%
計	683	317	1,000	100%	100%	100%



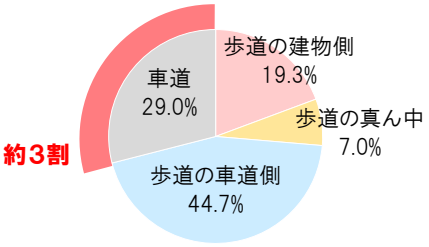


問19　普段，歩道のある道路を自転車で走行する際，どこを走ることが多いですか。

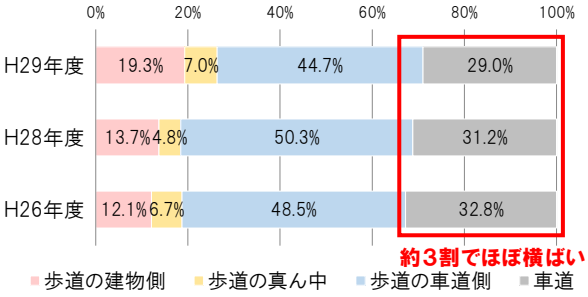
（自転車利用者のみ：N＝683）

○「車道」を走行している人は，過年度と同様，約3割であった。

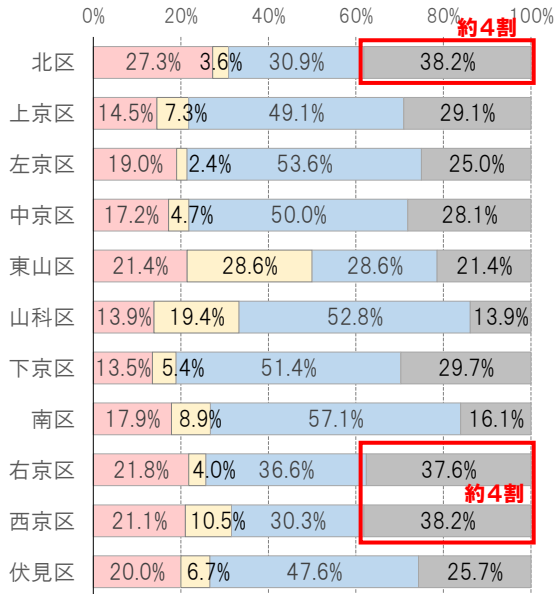
項目	回答数（人）	構成比（%）
歩道の建物側	132	19.3%
歩道の真ん中	48	7.0%
歩道の車道側	305	44.7%
車道	198	29.0%
計	683	100%



過年度での比較



居住区での比較



問20　上記を走行する理由（複数回答）

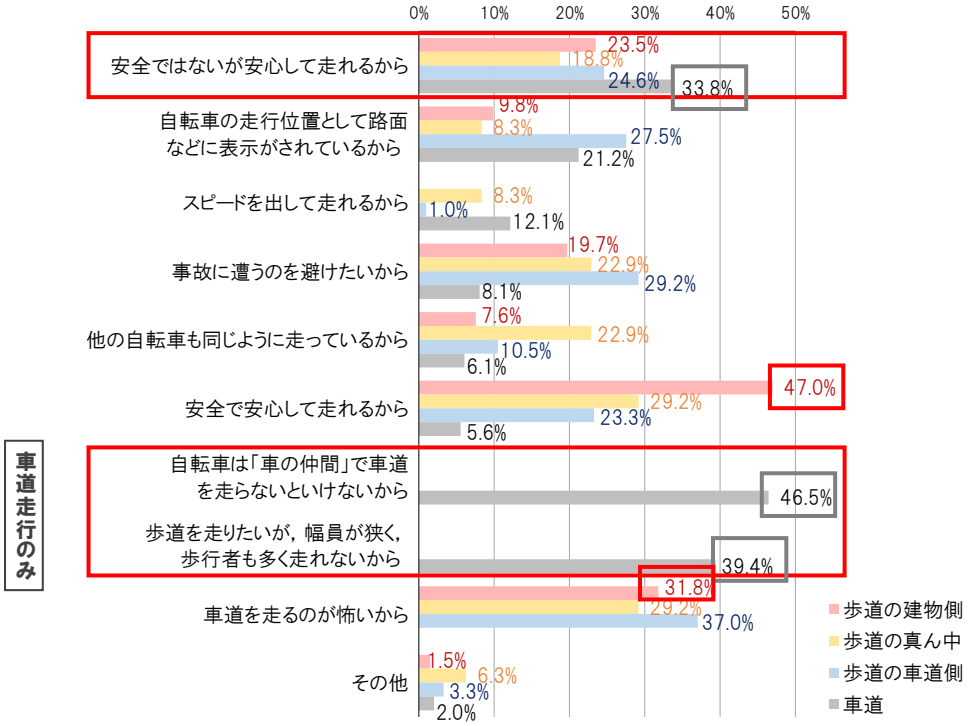
歩道の建物側

○「安全で安心して走れるから」が約5割，「車道を走るのが怖いから」が約3割となっているが，過年度と比較すると，いずれも割合が低下している。

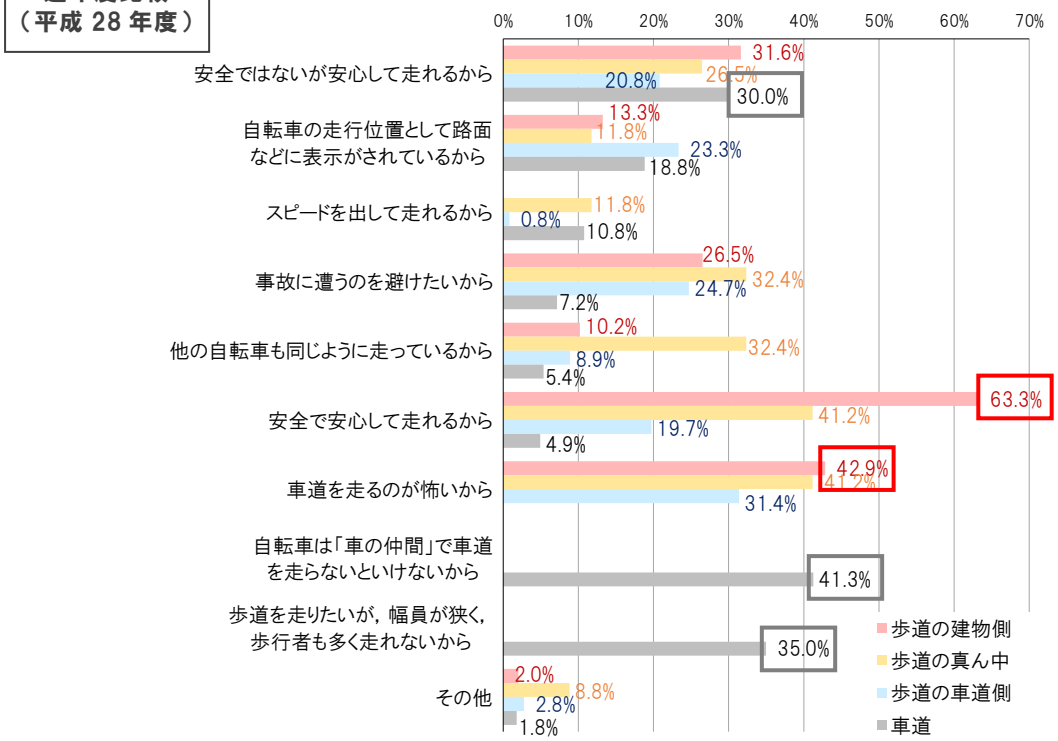
車道

○「自転車は「車の仲間」で車道を走らないといけないから」が約5割，「歩道を走りたいが，幅員が狭く歩行者も多く走れないから」が約4割，「安全ではないが安心して走れるから」が約3割，「自転車の走行位置として路面などに表示されているから」は約2割で，いずれも過年度と比較して割合が増加している。

項目	回答数（人）					構成比（%）				
	歩道の建物側	歩道の真ん中	歩道の車道側	車道	計	歩道の建物側	歩道の真ん中	歩道の車道側	車道	計
安全ではないが安心して走れるから	31	9	75	67	182	23.5%	18.8%	24.6%	33.8%	26.6%
自転車の走行位置として路面などに表示がされているから	13	4	84	42	143	9.8%	8.3%	27.5%	21.2%	20.9%
スピードを出して走れるから	0	4	3	24	31	0.0%	8.3%	1.0%	12.1%	4.5%
事故に遭うのを避けたいから	26	11	89	16	142	19.7%	22.9%	29.2%	8.1%	20.8%
他の自転車も同じように走っているから	10	11	32	12	65	7.6%	22.9%	10.5%	6.1%	9.5%
安全で安心して走れるから	62	14	71	11	158	47.0%	29.2%	23.3%	5.6%	23.1%
自転車は「車の仲間」で車道を走らないといけないから	0	0	0	92	92	0.0%	0.0%	0.0%	46.5%	13.5%
歩道を走りたいが，幅員が狭く，歩行者も多く走れないから	0	0	0	78	78	0.0%	0.0%	0.0%	39.4%	11.4%
車道を走るのが怖いから	42	14	113	0	169	31.8%	29.2%	37.0%	0.0%	24.7%
その他	2	3	10	4	19	1.5%	6.3%	3.3%	2.0%	2.8%
回答 計	**186**	**70**	**477**	**346**	**1,079**	–	–	–	–	–
回答者 計	**132**	**48**	**305**	**198**	**683**	–	–	–	–	–



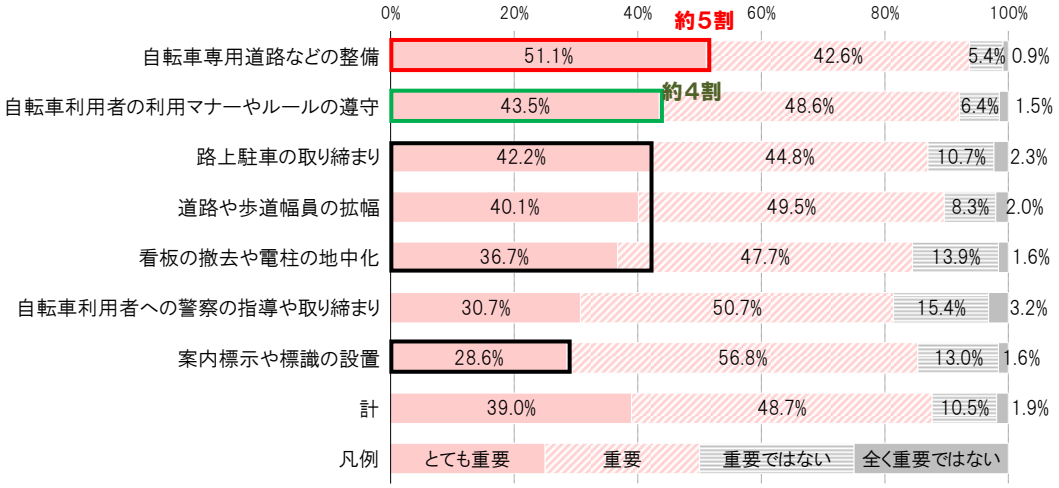
過年度比較（平成 28 年度）



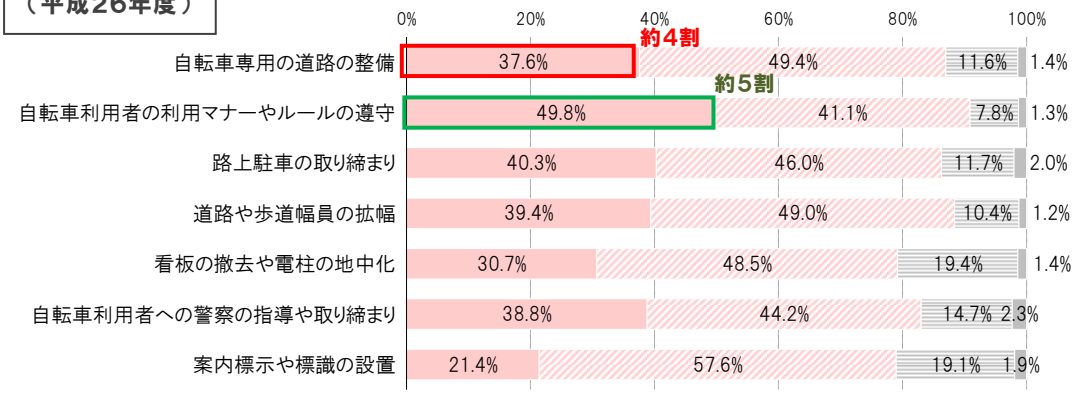
問21　安全に自転車が走行するには何が重要だと思いますか。

○「自転車専用道路等の整備」が5割となっており，過年度（約4割）より重要視する人が増えている。
○「自転車利用者の利用マナーやルールの遵守」は，過年度に比べ，割合が減少しているものの，約4割と2番目に重要視する人が多い。

項目	回答数（人）					構成比（%）				
	とても重要	重要	重要ではない	全く重要ではない	計	とても重要	重要	重要ではない	全く重要ではない	計
自転車専用道路などの整備	349	291	37	6	683	51.1%	42.6%	5.4%	0.9%	100%
自転車利用者の利用マナーやルールの遵守	297	332	44	10	683	43.5%	48.6%	6.4%	1.5%	100%
路上駐車の取り締まり	288	306	73	16	683	42.2%	44.8%	10.7%	2.3%	100%
道路や歩道幅員の拡幅	274	338	57	14	683	40.1%	49.5%	8.3%	2.0%	100%
看板の撤去や電柱の地中化	251	326	95	11	683	36.7%	47.7%	13.9%	1.6%	100%
自転車利用者への警察の指導や取り締まり	210	346	105	22	683	30.7%	50.7%	15.4%	3.2%	100%
案内標示や標識の設置	195	388	89	11	683	28.6%	56.8%	13.0%	1.6%	100%
計	1,864	2,327	500	90	4,781	39.0%	48.7%	10.5%	1.9%	100%



過年度比較（平成26年度）



（２）京都市内の走行環境に対する評価や満足度

問22　都市内の自転車の走行環境についてどのように感じていますか。

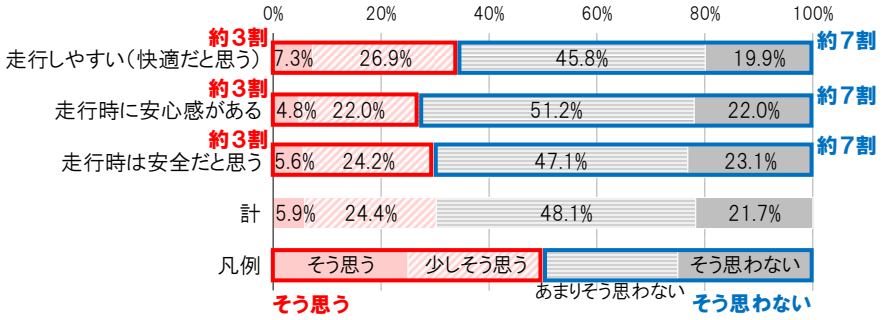
○「走行しやすい」や「走行時に安心感がある」，「走行時は安全だと思う」のいずれも約3割の人が「そう思う」と回答であった。

○走行空間の表示の分かりやすさは自転車利用者，非利用者ともに約4割が「分かりやすいと思う」との回答であった。

○案内標識の分かりやすさは，自転車利用者は約3割であったのに対し，非利用者は約4割と，非利用者の方が評価は高かった。

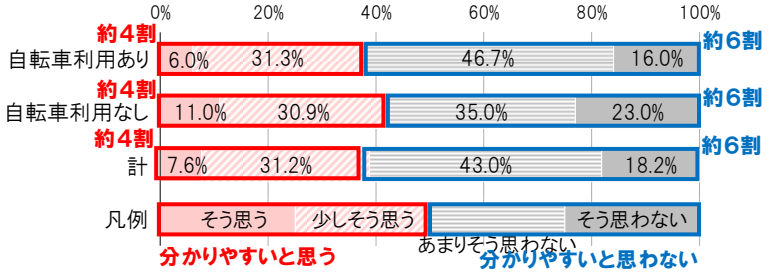
①自転車利用者のみへの３項目
（走行しやすい，走行時に安心感がある，走行時は安全だと思う）

項目	回答数（人）				構成比（%）			
	走行しやすい（快適だと思う）	走行時に安心感がある	走行時は安全だと思う	計	走行しやすい（快適だと思う）	走行時に安心感がある	走行時は安全だと思う	計
そう思う	50	33	38	121	7.3%	4.8%	5.6%	5.9%
少しそう思う	184	150	165	499	26.9%	22.0%	24.2%	24.4%
あまりそう思わない	313	350	322	985	45.8%	51.2%	47.1%	48.1%
そう思わない	136	150	158	444	19.9%	22.0%	23.1%	21.7%
計	**683**	**683**	**683**	**2,049**	**100%**	**100%**	**100%**	**100%**



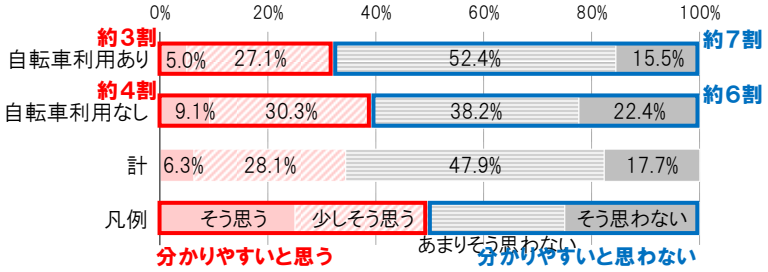
②走行空間の表示が分かりやすい

項目	回答数（人）			構成比（%）		
	自転車利用あり	自転車利用なし	計	自転車利用あり	自転車利用なし	計
そう思う	41	35	76	6.0%	11.0%	7.6%
少しそう思う	214	98	312	31.3%	30.9%	31.2%
あまりそう思わない	319	111	430	46.7%	35.0%	43.0%
そう思わない	109	73	182	16.0%	23.0%	18.2%
計	**683**	**317**	**1,000**	**100%**	**100%**	**100%**



③案内標識が分かりやすい

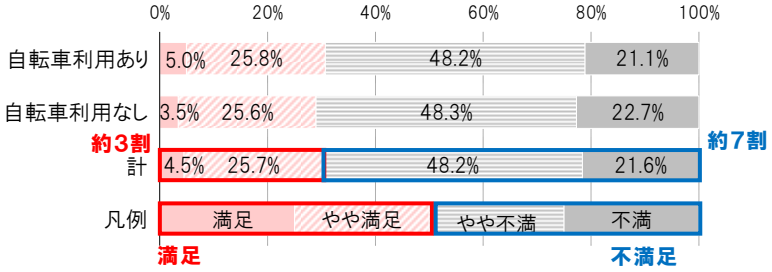
項目	回答数（人）			構成比（%）		
	自転車利用あり	自転車利用なし	計	自転車利用あり	自転車利用なし	計
そう思う	34	29	63	5.0%	9.1%	6.3%
少しそう思う	185	96	281	27.1%	30.3%	28.1%
あまりそう思わない	358	121	479	52.4%	38.2%	47.9%
そう思わない	106	71	177	15.5%	22.4%	17.7%
計	683	317	1,000	100%	100%	100%



問23　京都市内の自転車の走行環境について総合的な満足度

○自転車の走行環境に対して総合的に満足しているとの回答は，全体の約3割だった。

項目	回答数（人）			構成比（%）		
	自転車利用あり	自転車利用なし	計	自転車利用あり	自転車利用なし	計
満足	34	11	45	5.0%	3.5%	4.5%
やや満足	176	81	257	25.8%	25.6%	25.7%
やや不満	329	153	482	48.2%	48.3%	48.2%
不満	144	72	216	21.1%	22.7%	21.6%
計	683	317	1,000	100%	100%	100%



※自転車利用者のみが回答

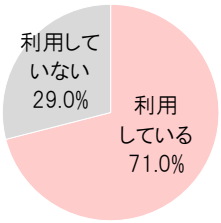
3　自転車の駐輪環境について

（1）駐輪場の利用や放置自転車の実態

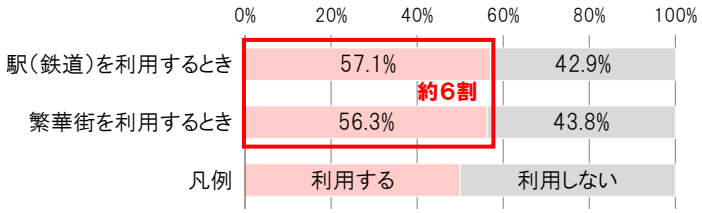
問24　自転車に乗るときは，普段から駐輪場を利用していますか。

○駐輪場を「利用している」との回答は約7割であった。
○過年度の利用状況と比べると約1割，駐輪場を利用する人の割合が上っている。

項目	回答数（人）	構成比（%）
利用している	485	71.0%
利用していない	198	29.0%
計	683	100%



参考：過年度比較（平成26年度）

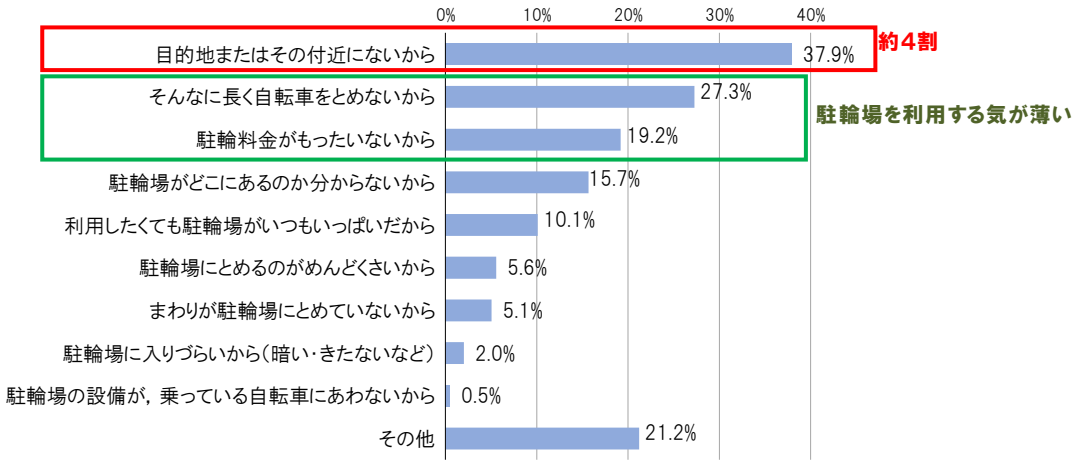


問25　駐輪場を利用しない理由（複数回答）

（前問で「利用しない」と回答した方のみ）

○駐輪場を利用しない理由は，「目的地またはその付近にないから」が約4割と最も多く，次いで「そんなに長く自転車をとめないから」が約3割，「駐輪料金がもったいないから」が約2割であった。

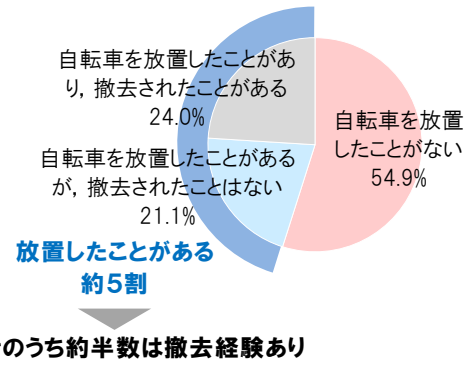
項目	回答数（人）	構成比（%）
目的地またはその付近にないから	75	37.9%
そんなに長く自転車をとめないから	54	27.3%
駐輪料金がもったいないから	38	19.2%
駐輪場がどこにあるのか分からないから	31	15.7%
利用したくても駐輪場がいつもいっぱいだから	20	10.1%
駐輪場にとめるのがめんどくさいから	11	5.6%
まわりが駐輪場にとめていないから	10	5.1%
駐輪場に入りづらいから（暗い・きたないなど）	4	2.0%
駐輪場の設備が，乗っている自転車にあわないから	1	0.5%
その他	42	21.2%
回答 計	286	－
回答者 計	198	－



問26　自転車を放置したことがありますか。また，撤去されたことがありますか。

○放置したことがある人は約5割で，そのうちの半数は撤去された経験を持っていた。

項目	回答数（人）	構成比（%）
自転車を放置したことがない	375	54.9%
自転車を放置したことがあるが，撤去されたことはない	144	21.1%
自転車を放置したことがあり，撤去されたことがある	164	24.0%
計	683	100%

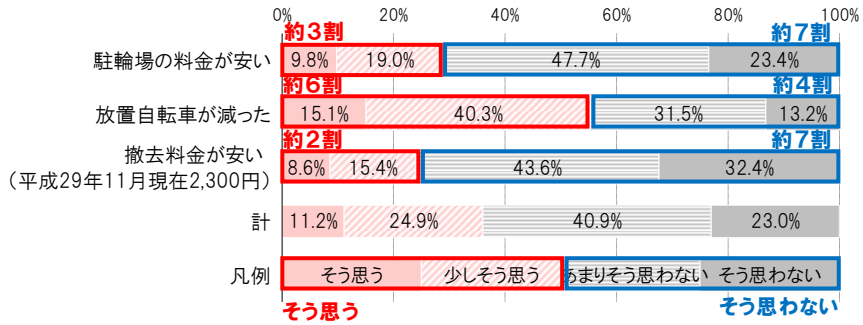


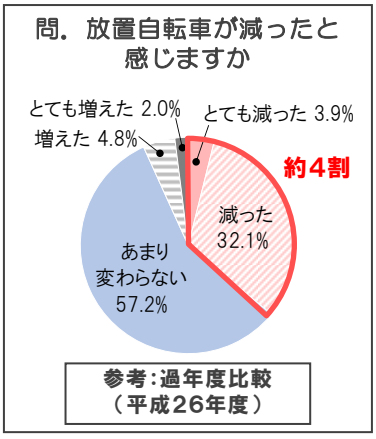
（2）京都市内の駐輪環境に対する評価や満足度

問27　京都市内の駐輪場・放置自転車等についてどのように感じていますか。

○駐輪場の料金について，「安いと思う」が約3割であった。
○放置自転車については，約6割の人が「減ったと思う」との回答であり，過年度（約4割）と比較して減ったと感じている人が多かった。
○撤去料金については，「安いと思う」は約2割であった。

項目	回答数（人）					構成比（%）				
	そう思う	少しそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	計	そう思う	少しそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	計
駐輪場の料金が安い	67	130	326	160	683	9.8%	19.0%	47.7%	23.4%	100%
放置自転車が減った	103	275	215	90	683	15.1%	40.3%	31.5%	13.2%	100%
撤去料金（平成29年11月現在2,300円）が安い	59	105	298	221	683	8.6%	15.4%	43.6%	32.4%	100%
計	229	510	839	471	2,049	11.2%	24.9%	40.9%	23.0%	100%

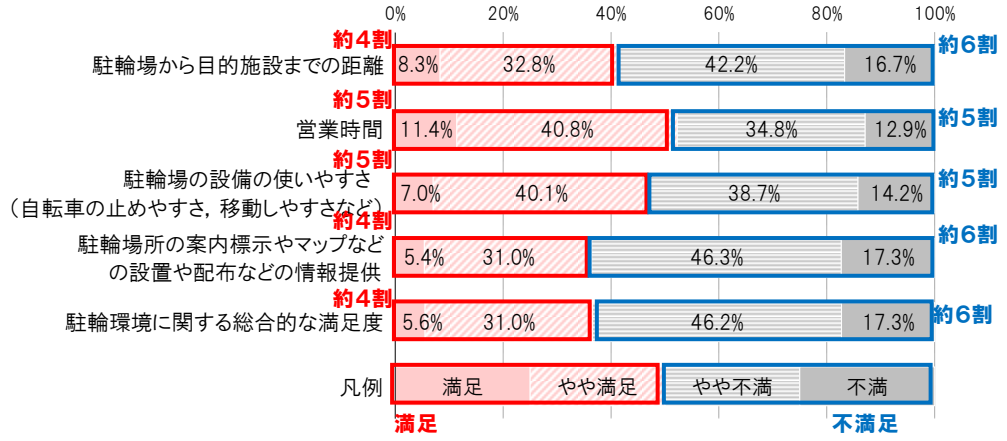




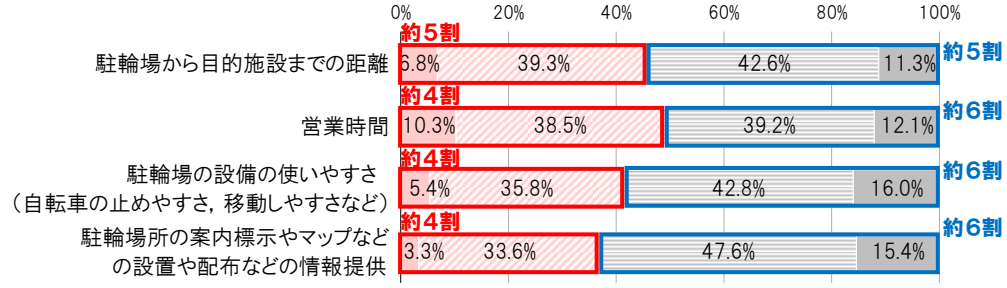
問28　京都市内の駐輪場・放置自転車等についての満足度

○営業時間や駐輪場の設備の使いやすさについて，約5割が「満足」と回答しており，過年度（約4割）より，満足度が向上していた。
○駐輪場から目的施設までの距離について，「満足」と回答した人は約4割で，過年度（約5割）より満足度が低下していた。
○駐輪環境の総合的な満足度は約 4 割と，ルール･マナーや走行環境に比べて高かった。

項目	回答数（人）					構成比（%）				
	満足	やや満足	やや不満	不満	計	満足	やや満足	やや不満	不満	計
駐輪場から目的施設までの距離	57	224	288	114	683	8.3%	32.8%	42.2%	16.7%	100%
営業時間	78	279	238	88	683	11.4%	40.8%	34.8%	12.9%	100%
駐輪場の設備の使いやすさ（自転車の止めやすさ，移動しやすさなど）	48	274	264	97	683	7.0%	40.1%	38.7%	14.2%	100%
駐輪場所の案内標示やマップなどの設置や配布などの情報提供	37	212	316	118	683	5.4%	31.0%	46.3%	17.3%	100%
駐輪環境に関する総合的な満足度	38	212	316	118	684	5.6%	31.0%	46.2%	17.3%	100%
計	258	1,201	1,422	535	3,416	7.6%	35.2%	41.6%	15.7%	100%



参考：過年度比較（平成26年度）



4 京都市の自転車政策について

（1）自転車政策に関する認知度や満足度

問29　自転車のルール等を分かりやすく説明した冊子「Enjoy 自転車 life in Kyoto」を知っていますか。

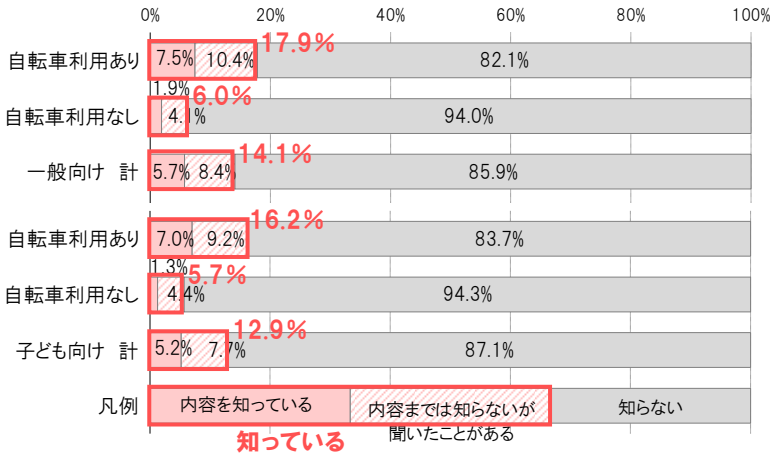
○自転車のルール･マナーの冊子を知っていたのは約 1 割であった。
○自転車利用者は，15%以上の方が知っており，非利用者（約6%）より，認知度が高かった。

■一般向け

項目	回答数（人）			構成比（%）		
	自転車利用あり	自転車利用なし	一般向け計	自転車利用あり	自転車利用なし	一般向け計
内容を知っている	51	6	57	7.5%	1.9%	5.7%
内容までは知らないが聞いたことがある	71	13	84	10.4%	4.1%	8.4%
知らない	561	298	859	82.1%	94.0%	85.9%
計	683	317	1,000	100%	100%	100%

□子ども向け

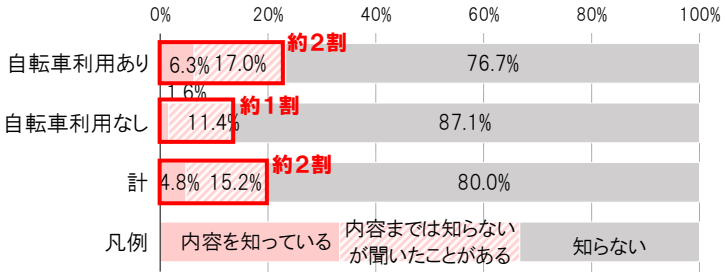
項目	回答数（人）			構成比（%）		
	自転車利用あり	自転車利用なし	子ども向け 計	自転車利用あり	自転車利用なし	子ども向け 計
内容を知っている	48	4	52	7.0%	1.3%	5.2%
内容までは知らないが聞いたことがある	63	14	77	9.2%	4.4%	7.7%
知らない	572	299	871	83.7%	94.3%	87.1%
計	683	317	1,000	100%	100%	100%

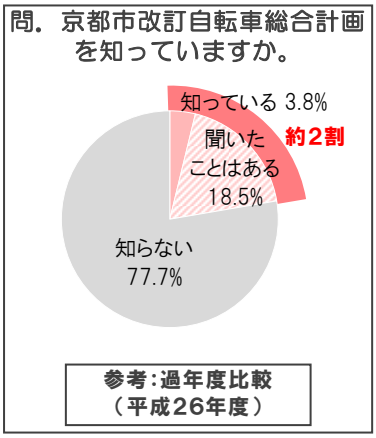


問30　「京都・新自転車計画」を知っていますか。

○「京都･新自転車計画」については，約 2 割の人が「聞いたことがある，知っている」と回答しており，過年度の「改定自転車総合計画」と同じくらいの認知状況となっている。

項目	回答数（人）			構成比（%）		
	自転車利用あり	自転車利用なし	計	自転車利用あり	自転車利用なし	計
内容を知っている	43	5	48	6.3%	1.6%	4.8%
内容までは知らないが聞いたことがある	116	36	152	17.0%	11.4%	15.2%
知らない	524	276	800	76.7%	87.1%	80.0%
計	**683**	**317**	**1,000**	**100%**	**100%**	**100%**

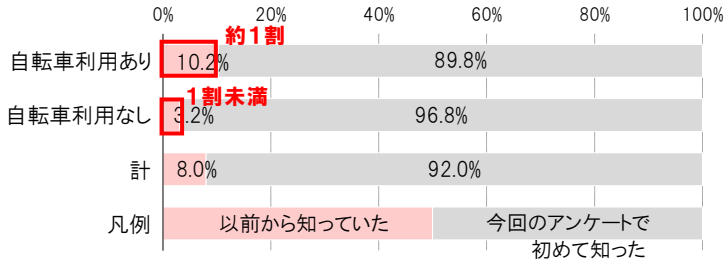




問31　本市の自転車総合サイト「京都市サイクルサイト」を知っていますか。

○ほとんどの人が「アンケートで知った」との回答で，以前から知っていた人は約 1 割であった。

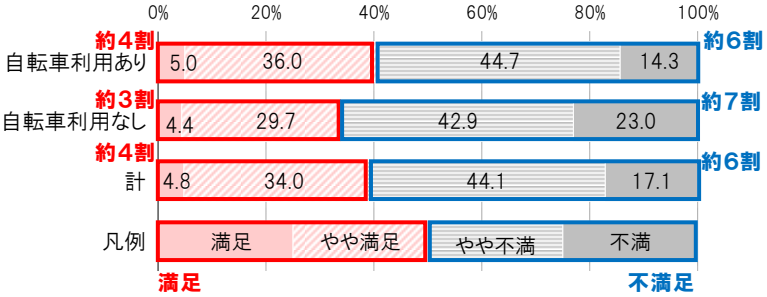
項目	回答数（人）			構成比（%）		
	自転車利用あり	自転車利用なし	計	自転車利用あり	自転車利用なし	計
以前から知っていた	70	10	80	10.2%	3.2%	8.0%
今回のアンケートで初めて知った	613	307	920	89.8%	96.8%	92.0%
計	**683**	**317**	**1,000**	**100%**	**100%**	**100%**



問32　京都市の自転車政策全般について総合的な満足度

○自転車政策全般の満足度は約4割であった。

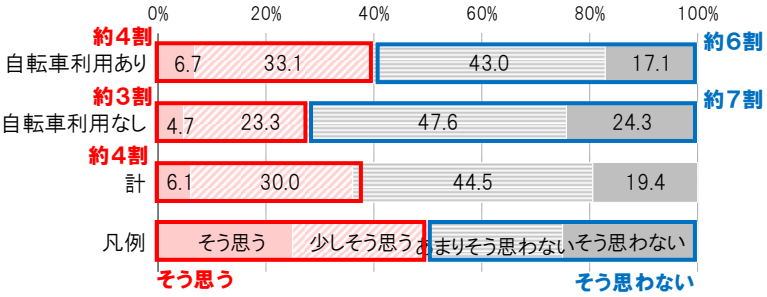
項目	回答数（人）			構成比（%）		
	自転車利用あり	自転車利用なし	計	自転車利用あり	自転車利用なし	計
満足	34	14	48	5.0	4.4	4.8
やや満足	246	94	340	36.0	29.7	34.0
やや不満	305	136	441	44.7	42.9	44.1
不満	98	73	171	14.3	23.0	17.1
計	**683**	**317**	**1,000**	**100**	**100**	**100**



問33　京都市は自転車が歩行者や車と共存できるまちになっていると思いますか。

○自転車利用者の約4割，非利用者の約3割が「自転車が歩行者と共存できるまちになっていると思う」との回答であった。

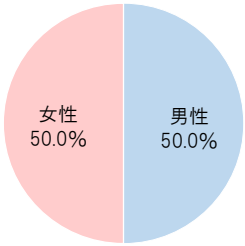
項目	回答数（人）			構成比（%）		
	自転車利用あり	自転車利用なし	計	自転車利用あり	自転車利用なし	計
そう思う	46	15	61	6.7	4.7	6.1
少しそう思う	226	74	300	33.1	23.3	30.0
あまりそう思わない	294	151	445	43.0	47.6	44.5
そう思わない	117	77	194	17.1	24.3	19.4
計	**683**	**317**	**1,000**	**100**	**100**	**100**



5 属性について

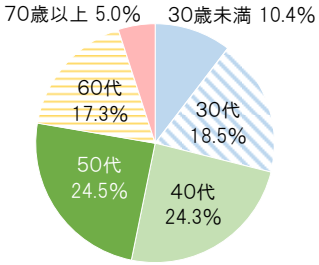
①性別

項目	回答数（人）	構成比（%）
男性	500	50.0%
女性	500	50.0%
計	1,000	100%



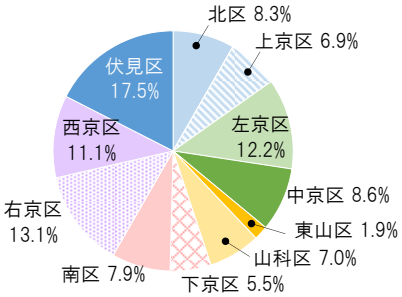
②年齢

項目	回答数（人）	構成比（%）
30歳未満	104	10.4%
30代	185	18.5%
40代	243	24.3%
50代	245	24.5%
60代	173	17.3%
70歳以上	50	5.0%
計	1,000	100%



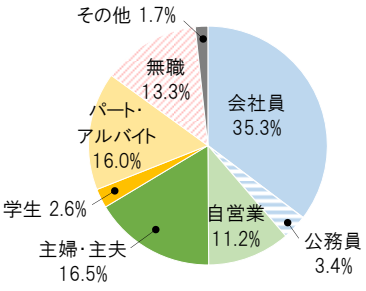
③住まい

項目	回答数（人）	構成比（%）
北区	83	8.3%
上京区	69	6.9%
左京区	122	12.2%
中京区	86	8.6%
東山区	19	1.9%
山科区	70	7.0%
下京区	55	5.5%
南区	79	7.9%
右京区	131	13.1%
西京区	111	11.1%
伏見区	175	17.5%
計	1,000	100%

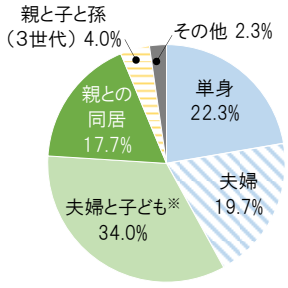


④職業

項目	回答数（人）	構成比（%）
会社員	353	35.3%
公務員	34	3.4%
自営業	112	11.2%
主婦・主夫	165	16.5%
学生	26	2.6%
パート・アルバイト	160	16.0%
無職	133	13.3%
その他	17	1.7%
計	1,000	100%



⑤家族構成

項目	回答数（人）	構成比（%）
単身	223	22.3%
夫婦	197	19.7%
夫婦と子ども※	340	34.0%
親との同居	177	17.7%
親と子と孫（3世代）	40	4.0%
その他	23	2.3%
計	1,000	100%

※ 親と子，父と子または母と子